もくじ

2章　音楽と映像　65

はじめに

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、同梱の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

記号の意味

⚠危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。
お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
参照	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合 …「　」 他のマニュアルへの参照の場合 …『　』 サイバーサポートへの参照の場合 …《　》 サイバーサポートにはさまざまな情報が搭載されており、自然語で検索できます。

＊1　重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2　傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
＊3　物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

用語について

本書では、次のように定義します。

システム　特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム（OS）を示します。本製品のシステムはWindows XPです。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト
アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows XP　Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system日本語版を示します。

MS-IME　Microsoft® IME 2003／ナチュラル インプット2003を示します。

サイバーサポート
CyberSupport for TOSHIBAを示します。

ドライブ　DVDマルチドライブを示します。

参照 詳細について「1章 9 ドライブ」

TVチューナボックス同梱モデル
TVチューナボックスが同梱されているモデルを示します。

参照 詳細について『TVチューナボックス取扱説明書』

記載について

- 記載内容によっては、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「＊＊＊＊モデルのみ」と注記します。
- インターネット接続については、内蔵モデムを使用した接続を前提に説明しています。
- アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは同梱のCD／DVDからインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
- 本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。

Trademarks

・Microsoft、Windows、Windows Media、OneNote、Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
・CyberSupport、BeatJam、ホームページミックス、マイペンシルは、株式会社ジャストシステムの商標または登録商標です。
・CyberSupport、BeatJam、ホームページミックス /R.2、マイペンシル /R.2 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、CyberSupport、BeatJam、ホームページミックス /R.2、マイペンシル /R.2 にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
・CDDB は Gracenote の商標です。
・i.LINK と i.LINK ロゴは商標です。
・LaLaVoice、ekitanExpress、ConfigFreeは(株)東芝の商標または登録商標です。
・The 翻訳、The 翻訳インターネットは、東芝ソリューション株式会社の商標です。
・Adobe は Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の商標です。
・Drag'n Drop はイージーシステムズジャパン株式会社と株式会社デジオンの登録商標です。
・駅すぱあとは株式会社ヴァル研究所の登録商標です。
・プロアトラスは株式会社アルプス社および株式会社アルプス出版社の登録商標です。
・Symantec は Symantec Corporation の登録商標です。
Norton Internet Security は Symantec Corporation の商標です。
©2004 Symantec Corporation, All Rights Reserved.
・InterVideo、WinDVD、WinDVD Creator は InterVideo,Inc. の登録商標または商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

プロセッサ（CPU）に関するご注意

本製品に使われているプロセッサ（CPU）の処理能力は次のような条件によって違いが現れます。

・周辺機器を接続して本製品を使用している場合
・AC アダプタを接続せずバッテリ駆動にて本製品を使用する場合
・マルチメディアゲームや特殊効果を含む映像を本製品にてお楽しみの場合
・本製品を通常の電話回線、もしくは低速度のネットワークに接続して使用する場合
・複雑な造形に使用するソフト（例えば、運用に高性能コンピュータが必要に設計されているデザイン用アプリケーションソフト）を本製品上で使用する場合
・気圧が低い高所にて本製品を使用する場合
　目安として、標高 1,000 メートル（3,280 フィート）以上をお考えください。
・目安として、気温 5 ～ 35℃（高所の場合 25℃）の範囲を超えるような外気温の状態で本製品を使用する場合

本製品のハードウェア構成に変更が生じる場合、CPU の処理能力が実際には仕様と異なる場合があります。
また、ある状況下においては、本製品は自動的にシャットダウンする場合があります。これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本製品が使用された場合、お客様のデータの喪失、破損、本製品自体に対する損害の危険を減らすための通常の保護機能です。なお、このようにデータの喪失、破損の危険がありますので、必ず定期的にデータを外部記録機器にて保存してください。また、プロセッサが最適の処理能力を発揮するよう、当社が推奨する状態にて本製品をご使用ください。
この他の使用制限事項につきましては取扱説明書をお読みください。また、詳細な情報については東芝 PC ダイヤル 0570-00-3100 にお問い合わせください。

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者及び著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。必ず読んでください。次の操作を行うと表示されます。

① ［スタート］→［すべてのプログラム］→［はじめに］→［リリース情報］をクリックする

お願い

・本製品の内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
・Windows のツールまたはリカバリ DVD-ROM を使用して再セットアップする手順以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。
・セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。
・内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
・購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
・パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを削除できなくなった場合は、使用している機種を確認後、近くの保守サービスに依頼してください。パスワードの解除を保守サービスに依頼する場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。
・ご使用の際は必ず本書をはじめとする取扱説明書と『エンドユーザ使用許諾契約書』および『ソフトウェアに関する注意事項』をお読みください。

本製品のお客様登録（ユーザ登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。本体同梱の『お客様登録カード』またはインターネット経由で登録できます。

参照 詳細について『さあ始めよう 1 章 6 ユーザ登録をする』

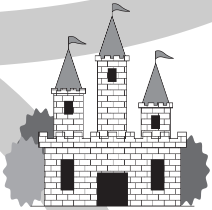
『保証書』は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

やりたいことを探そう！



探しかた

・ホームページを見たい
「Internet Explorer」⇒ XXXXX
→アプリケーション名　→参照ページまたは参照マニュアル名





通信を楽しむ

・プロバイダと契約したい
「簡単インターネット」⇒『さあ始めよう 3章』

・ホームページを見たい
「Internet Explorer」⇒『さあ始めよう 3章』

・ホームページを英語／日本語に翻訳したい
「The翻訳 インターネット」⇒《サイバーサポート》

・海外でインターネットに接続したい
「内蔵モデム用地域選択ユーティリティ」⇒『応用にチャレンジ 1章』

・ネットワークの診断や切り替えをしたい
「ConfigFree」⇒『応用にチャレンジ 1章』



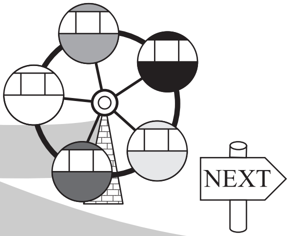
メールを使う



・メールとスケジュールをまとめて管理したい
「Microsoft Office Outlook」⇒《サイバーサポート》

・メールをしたい
「Microsoft Office Outlook」「Outlook Express」
⇒『さあ始めよう 4章』

各アプリケーションの問い合わせ先は『困ったときは 付録』をご覧ください。

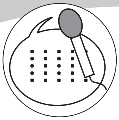




音楽を楽しむ

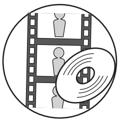


- **音楽CDやファイル、ムービーを再生したい**
  「Windows Media Player」⇒P.66、78
- **オリジナル音楽CDを作りたい**
  「Drag'n Drop CD＋DVD」⇒P.82
- **音楽CDやファイルを再生、管理したい**
  「BeatJam」⇒P.66、75



音声

- **パソコンを音声で操作したい**
  パソコンに文章を読み上げさせたい
  「LaLaVoice」⇒《サイバーサポート》



画像/映像を楽しむ

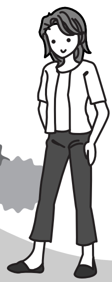
- **デジタルカメラの写真を取り込んで編集したい**
  「デジカメWalker（Ulead iPhoto Express）」⇒P.94
- **DVDを楽しみたい**
  「InterVideo WinDVD」⇒P.86
- **映像を取り込んで編集し、DVDを作りたい**
  「WinDVD Creator 2 Platinum」⇒P.97
- **テレビを観たり、録画したい**
  ＊TVチューナボックス同梱モデルのみ ⇒『TVチューナボックス取扱説明書』



文書/表を作る

・案内状や報告書を作りたい
「Microsoft Office Word」⇒《サイバーサポート》

・表やグラフを作りたい
「Microsoft Office Excel」⇒《サイバーサポート》



便利なソフト

・PDFファイルを見たい
「Adobe Reader」⇒《サイバーサポート》

・地図で場所を調べたい
「プロアトラスW2 for TOSHIBA」⇒《サイバーサポート》

・電車の経路や時刻表、運賃を調べたい
「駅すぱあと」「ekitanExpress Online」⇒《サイバーサポート》

・年賀状や暑中見舞いを作りたい
「筆ぐるめ」⇒《サイバーサポート》

・ホームページを作りたい
「ホームページミックス /R.2」⇒《サイバーサポート》

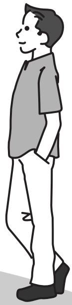
・日記をつけたい
「マイペンシル /R.2」⇒《サイバーサポート》

・メモを有効活用したい
「Microsoft Office OneNote」⇒《サイバーサポート》

・キャラクターで遊びたい
「ぱらちゃん」⇒《サイバーサポート》

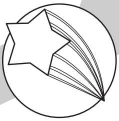


パソコンを守る

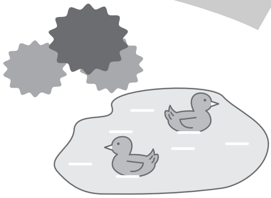


・ウイルスのチェックや駆除をしたい
「Norton Internet Security」⇒『困ったときは 2章』

・CD-R、CD-RWにバックアップを取りたい
「Drag'n Drop CD＋DVD」⇒『困ったときは 2章』



パソコンの設定



・パソコンの状態をチェックしたい
パソコンの基本情報を知りたい
「東芝PC 診断ツール」⇒『困ったときは 1章』

・ハードウェアの設定を変えたい
「東芝 HW セットアップ」⇒『応用にチャレンジ 5章』

・オーディオボタンやワンタッチボタンの設定を変えたい
「東芝コントロール」⇒P.34、35

・キー操作でアプリケーションを起動したい
「Fn-esse」⇒《サイバーサポート》

・バッテリ駆動のときの省電力設定をしたい
「東芝省電力」⇒『応用にチャレンジ 3章』

・アイコンやメニューを大きくしたい
「TOSHIBA Smooth View」⇒《サイバーサポート》





1章

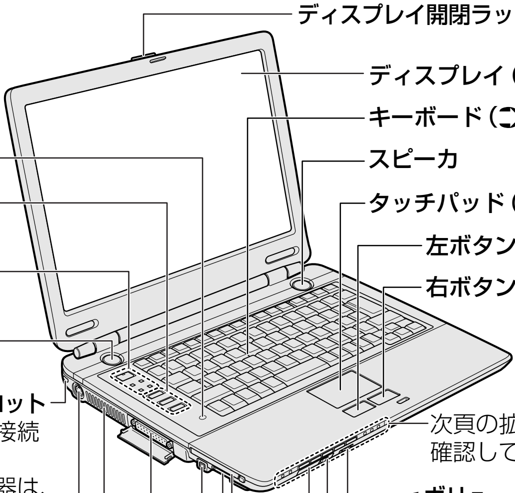
本体の機能

このパソコン本体の各部について、名称、役割、基本の使いかたなどを説明しています。
また、使いやすいように各部機能の設定を変更、調整する操作やショートカットなど役に立つ機能も紹介。
各部の手入れについても確認してください。

1 各部の名前

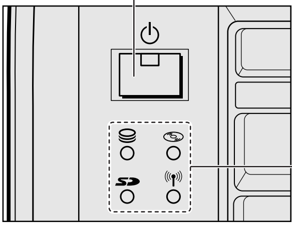
ここでは、各部の名前と機能を簡単に説明します。
それぞれについての詳しい説明は、各参照ページや各マニュアルを確認してください。

1 前面図



＊1『応用にチャレンジ 2章』を参照してください。

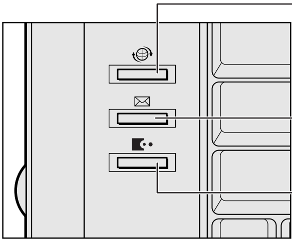
【拡大図 A】



電源スイッチ
電源が入っていると、電源スイッチのインジケータが青色に点灯します。

システムインジケータ（P.19）

【拡大図 B】



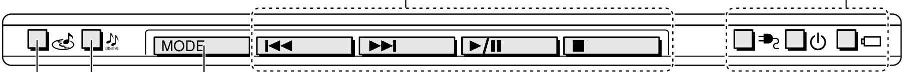
インターネットボタン（P.35）
ボタンを押すと、インターネットブラウザが起動します。

メールボタン（P.35）
ボタンを押すと、メールソフトが起動します。

サイバーサポートボタン（P.35）
ボタンを押すと、サイバーサポートが起動します。

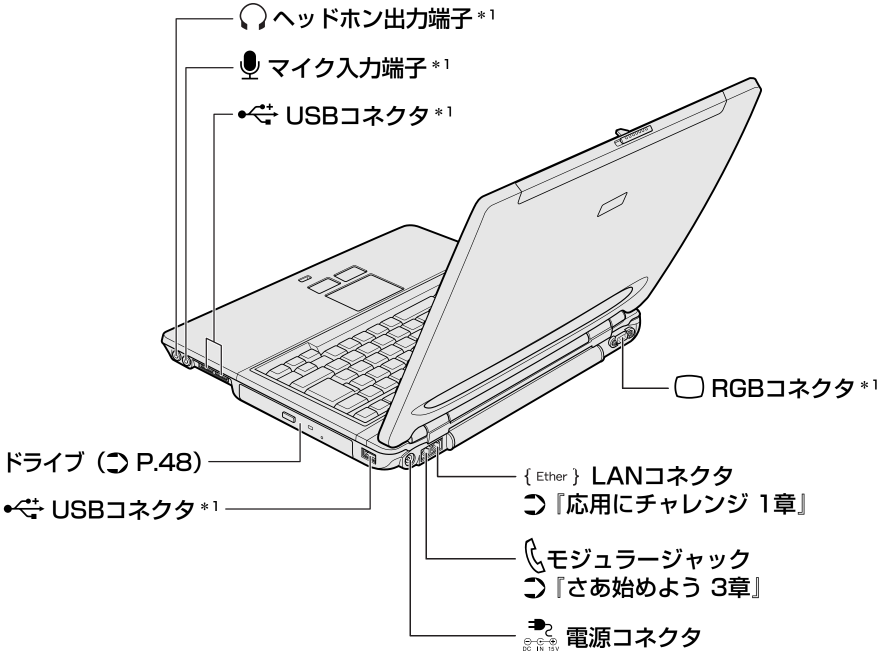
【拡大図 C】

オーディオボタン（P.34）
システムインジケータ（P.19）



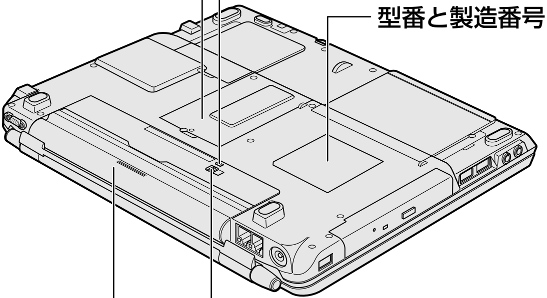
モード切替ボタン（P.34）
オーディオデジタル再生LED
CD/DVD再生LED

2 背面図



＊1『応用にチャレンジ 2章』を参照してください。

3 裏面図



＊1 『応用にチャレンジ 2章』を参照してください。

⚠ 警 告

- 必ず、本製品付属のACアダプタを使用してください。本製品付属以外のACアダプタを使用すると電圧や（＋）（－）の極性が異なっていることがあるため、火災・破裂・発熱のおそれがあります。
- パソコン本体にACアダプタを接続する場合、必ず『さあ始めよう』に記載してある順番を守って接続してください。順番を守らないと、ACアダプタのDC出力プラグが帯電し、感電または軽いケガをする場合があります。また、一般的な注意として、ACアダプタのプラグをパソコン本体の電源コネクタ以外の金属部分に触れないようにしてください。

⚠ 注 意

- お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源コードをAC電源から抜いてください。電源を切らずにお手入れをはじめると、感電するおそれがあります。
- 機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。

【 電源コードの仕様 】

本製品に同梱されている電源コードは、日本の規格にのみ準拠しています。
その他の地域で使用する場合は、当該国・地域の法令・安全規格に適合した電源コードを購入してください。
使用できる電圧（AC）は、100V です。
必ず AC100V のコンセントで使用してください。

＊取得規格は、電気用品安全法です。

【 AC アダプタの仕様 】

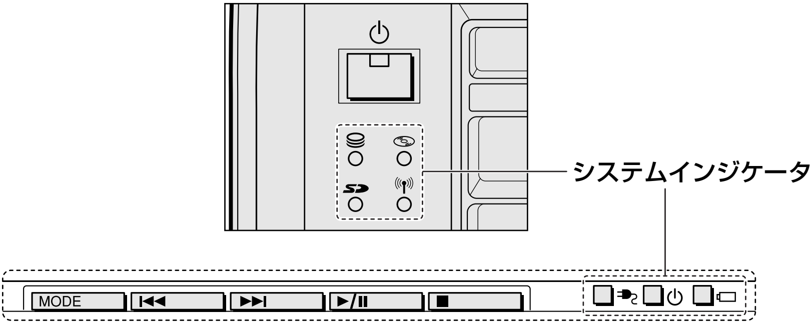
本製品に同梱されている AC アダプタは、海外でも使用できます。
入力： AC100 ～ 240V、1.2A-0.6A、50-60Hz
出力： DC15V 5A

パソコン本体 / 電源コードの取り扱いと手入れ

- 機器の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってから拭きます。
  ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。
- 薬品や殺虫剤などをかけないでください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。
- 使用できる環境は次のとおりです。
  温度 5 ～ 35℃、湿度 20 ～ 80%
- 次のような場所で使用や保管をしないでください。
  直射日光の当たる場所／非常に高温または低温になる場所／急激な温度変化のある場所（結露を防ぐため）／強い磁気を帯びた場所（スピーカなどの近く）／ホコリの多い場所／振動の激しい場所／薬品の充満している場所／薬品に触れる場所
- 使用中に本体の底面や AC アダプタが熱くなることがあります。本体の動作状況により発熱しているだけで、故障ではありません。
- 電源コードのプラグを長期間にわたって AC コンセントに接続したままにしていると、プラグにホコリがたまることがあります。定期的にホコリを拭き取ってください。

2 システムインジケータ

システムインジケータの点灯状態によって、パソコン本体がどのような動作をしているのかを知ることができます。



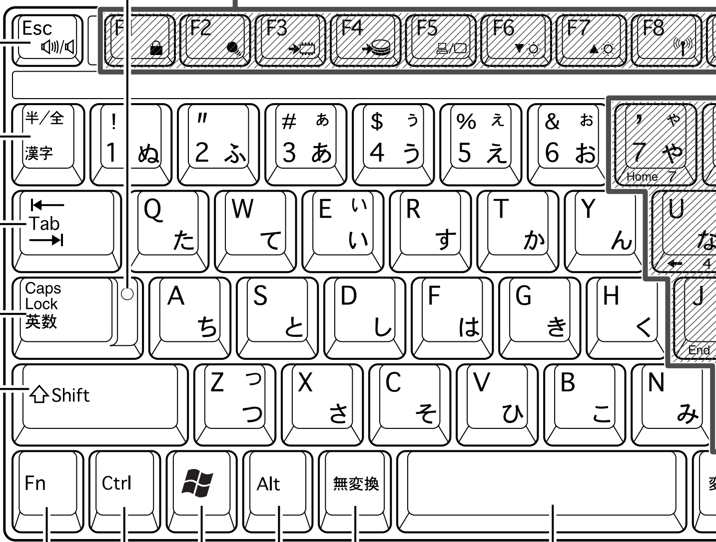
【 システムインジケータ 】

	DC IN LED	電源コードの接続 参照『さあ始めよう 1 章』
	Power LED	電源の状態 参照『さあ始めよう 1 章』
	Battery LED	バッテリの状態 参照『応用にチャレンジ 3 章』
	Disk LED	ハードディスクドライブにアクセスしている 参照 P.44
	CD-ROM LED	ドライブにアクセスしている 参照 P.48
	SD Card LED	SD カードスロットにアクセスしている 参照 P.58
	ワイヤレス コミュニケーションLED	無線通信機能の状態 参照『応用にチャレンジ 1 章』

3 キーボード

ここでは基本的な使いかたと、それぞれのキーの意味や呼びかたについて簡単に説明します。

1 キーボード図



Caps Lock(キャプスロック)LED
文字入力の大文字ロック状態を示す

Esc(エスケープ)キー
操作を取り消すときに使う

半／全<漢字>キー

Tab(タブ)キー

Caps Lock(キャプスロック)英数キー

Shift(シフト)キー
アルファベットの大文字、小文字入力の一時的な切り替えや記号などを入力するときに使う

Fn(エフエヌ)キー
オーバレイキーを使用するときやファンクションキーとの組み合わせにより、特殊機能を実行するときに使う

Ctrl(コントロール)キー
他のキーと組み合わせて、特定の操作を実行するときに使う

ウィンドウズキー
Windowsのスタートメニューを表示するときや他のキーと組み合わせて、ショートカットとして使う

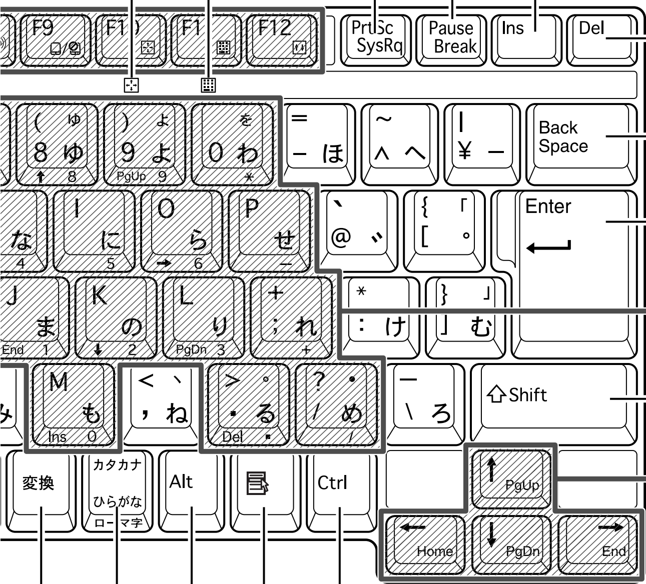
ファンクションキー
特定の操作を実行するときなどに使う

無変換キー

Alt(オルト)キー
他のキーと組み合わせて、特定の操作を実行するときに使う

Space(スペース)キー
空白文字を入力するときや、入力した文字をかな漢字変換するときに使う

参照 文字入力について『さあ始めよう 2章 4 文字を入力する』



② キーシフトインジケータの切り替え

キーシフトインジケータは、どんな文字が入力できる状態かを示します。

各インジケータの役割と切り替え方法は、次の表のようになっています。それぞれの状態がオンになっているとき、LED が点灯します。

【 キーシフトインジケータ 】

LED	切り替えキー	文字入力の状態
Caps Lock LED	Shift ＋ Caps Lock 英数	**大文字ロック状態** 文字キーで英字の大文字が入力できます。
Arrow Mode LED	Fn ＋ F10	**アロー状態** オーバレイキーで、キーの前面左側に印刷されたカーソル制御ができます。
Numeric Mode LED	Fn ＋ F11	**数字ロック状態** オーバレイキーで、キーの前面右側に印刷された数字などの文字が入力できます。

それぞれの文字入力状態を解除するには、切り替えキーをもう 1 度押して LED を消灯します。
すべてのキーを大文字ロック状態で使用する場合は、アロー状態と数字ロック状態は解除してください。

3 キーを使った便利な機能

各キーにはさまざまな機能が用意されています。いくつかのキーを組み合わせて押すと、いろいろな操作が実行できます。

【Fnキーを使った特殊機能キー】

キー	内容
Fn+Esc 〈スピーカのミュート〉	内蔵スピーカやヘッドホンの音量をミュート（消音）にします。元に戻すときは、もう１度Fn+Escキーを押します。
Fn+F1 〈インスタント セキュリティ機能〉	画面右上にカギアイコンが表示された後、画面表示がオフになります。 解除するには、次の操作を行ってください。 ① Shiftキーや Ctrlキーを押す、またはタッチパッドを操作する ユーザ選択画面が表示されますので、ログオンするユーザ名をクリックしてください。 ② Windows のログオンパスワードを設定している場合は、パスワード入力画面に Windows のログオンパスワードを入力し、Enterキーを押す パスワードによる保護を設定（［画面のプロパティ］の［スクリーンセーバー］タブで、［パスワードによる保護］または［再開時にようこそ画面に戻る］をチェック）しておくと、セキュリティを強化できます。
Fn+F2 〈省電力プロファイルの設定〉	Fn+F2キーを押すと、設定されている「東芝省電力」のプロファイルが表示されます。 Fnキーを押したまま、F2キーを押すたびにプロファイルが切り替わります。
Fn+F3 〈スタンバイ機能の実行〉	Fn+F3キーを押し、表示される画面で［はい］ボタンをクリックするとスタンバイ機能が実行されます＊1。
Fn+F4 〈休止状態の実行〉	Fn+F4キーを押し、表示される画面で［はい］ボタンをクリックすると休止状態が実行されます＊1。

＊1 表示される画面で［今後、このメッセージを表示しない］をチェックすると、次回以降メッセージ画面は表示されません。

キー	内容
Fn＋F5 〈表示装置の切り替え〉	表示装置を切り替えます。 参照 詳細について 『応用にチャレンジ 2 章 4 テレビを接続する』
Fn＋F6 〈内部液晶ディスプレイの輝度を下げる〉	Fnキーを押したまま、F6キーを押すたびに内部液晶ディスプレイの輝度が 1 段階ずつ下がります。表示される画面のアイコンで輝度の状態を確認できます。
Fn＋F7 〈内部液晶ディスプレイの輝度を上げる〉	Fnキーを押したまま、F7キーを押すたびに内部液晶ディスプレイの輝度が 1 段階ずつ上がります。表示される画面のアイコンで輝度の状態を確認できます。
Fn＋F8 〈無線通信機能を切り替える〉	ワイヤレスコミュニケーションスイッチを On にしている場合、Fnキーを押したまま、F8キーを押すたびに使用する無線通信機能を切り替えます。 ＊本機能はサポートしておりません。
Fn＋F9 〈タッチパッドオン／オフ機能〉	タッチパッドからの入力を無効にできます。再び有効にするには、もう 1 度Fn＋F9キーを押します。 参照 「本章 4- ❸ タッチパッドを無効／有効にするには」
Fn＋F10 〈オーバレイ機能〉	キー前面左に印刷された、カーソル制御キーとして使用できます（アロー状態)。アロー状態を解除するには、もう 1 度Fn＋F10キーを押します。
Fn＋F11 〈オーバレイ機能〉	キー前面右に印刷された、数字などの文字を入力できます（数字ロック状態)。数字ロック状態を解除するには、もう 1 度Fn＋F11キーを押します。 アプリケーション（Microsoft Office Excel など）によっては異なる場合があります。
Fn＋F12 〈スクロールロック状態〉	一部のアプリケーションで↑↓←→キーを画面スクロールとして使用できます。ロック状態を解除するには、もう 1 度Fn＋F12キーを押します。
Fn＋Space 〈内部液晶ディスプレイの解像度切り替え〉	Fnキーを押したまま、Spaceキーを押すたびに内部液晶ディスプレイの解像度を切り替えます。

キー	内容
Fn＋↑ 〈PgUp (ページアップ)〉	一般的なアプリケーションで、Fnキーを押したまま、↑キーを押すと、前のページに移動できます。
Fn＋↓ 〈PgDn (ページダウン)〉	一般的なアプリケーションで、Fnキーを押したまま、↓キーを押すと、次のページに移動できます。
Fn＋← 〈Home（ホーム)〉	一般的なアプリケーションで、Fnキーを押したまま、←キーを押すと、カーソルが行または文書の最初に移動します。
Fn＋→ 〈End（エンド)〉	一般的なアプリケーションで、Fnキーを押したまま、→キーを押すと、カーソルが行または文書の最後に移動します。
Fn＋1 〈縮小〉	デスクトップや一般的なアプリケーションで、Fnキーを押したまま、1キーを押すと、画面やアイコンなどが縮小されます。
Fn＋2 〈拡大〉	デスクトップや一般的なアプリケーションで、Fnキーを押したまま、2キーを押すと、画面やアイコンなどが拡大されます。

【 ⊞キーを使ったショートカットキー 】

キー	操作
⊞＋R	［ファイル名を指定して実行］画面を表示する
⊞＋M	すべての画面を最小化する
Shift＋⊞＋M	⊞＋Mキーで最小化したすべての画面を元に戻す
⊞＋F1	『ヘルプとサポート』を起動する
⊞＋E	［マイコンピュータ］画面を表示する
⊞＋F	ファイルまたはフォルダを検索する
Ctrl＋⊞＋F	他のコンピュータを検索する
⊞＋Tab	タスクバーのボタンを順番に切り替える
⊞＋Break	［システムのプロパティ］画面を表示する

【 特殊機能キー 】

特殊機能	キー	操作
タスクマネージャの起動	Ctrl＋Alt＋Del	［Windows タスクマネージャ］画面が表示されます。 アプリケーションやシステムの強制終了を行います。
画面コピー	PrtSc	現在表示中の画面をクリップボードにコピーします。
	Alt＋PrtSc	現在表示中のアクティブな画面をクリップボードにコピーします。

キーボードの取り扱いと手入れ

柔らかい乾いた素材のきれいな布で拭いてください。
汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼって拭きます。
キーのすきまにゴミが入ったときは、エアーで吹き飛ばすタイプのクリーナで取り除きます。ゴミが取れないときは、使用している機種名を確認してから、購入店、または保守サービスに相談してください。
コーヒーなど飲み物をこぼしたときは、ただちに電源を切り、ACアダプタとバッテリパックを取りはずして、購入店、または保守サービスに相談してください。

4 タッチパッド

タッチパッドを使いやすく設定できます。

1 タッチパッドを設定するには

タッチパッドやポインタの設定は、［マウスのプロパティ］で行います。

1 ［マウスのプロパティ］の起動方法

1 ［コントロールパネル］を開き、［  プリンタとその他のハードウェア］をクリックする

2 ［  マウス］をクリックする

［マウスのプロパティ］画面が表示されます。



3 各タブで機能を設定し、［OK］ボタンをクリックする

各機能の設定については、本節の以降の説明を参照してください。
［キャンセル］ボタンをクリックした場合は、設定が変更されません。

2 タッチパッドの設定方法

［マウスのプロパティ］では、タッチパッドやポインタなどの各種設定ができます。
タッチパッドの設定をするには、次のように操作してください。

1 ［デバイス設定］タブで［設定］ボタンをクリックする

［デバイス設定］画面が表示されます。

2 画面左側に表示されているメニューから、設定したい項目をクリックする

画面右側に、選択した項目の設定内容と、その説明が表示されます。説明をよく読んで各項目を設定してください。
項目名の左に（ ⊞ ）が表示されている場合、項目名をダブルクリックすると、さらに細かい設定項目が表示されます。



2 タッピング機能

タッチパッドを指で軽くたたくことをタッピングといいます。
タッピング機能を使うと、左ボタンを使わなくても、次のような基本的な操作ができます。

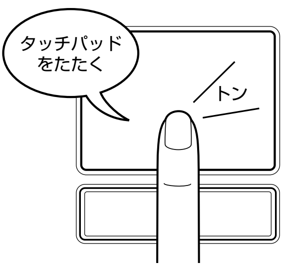
1 タッピングの方法

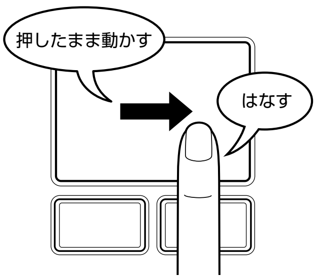
【 クリック / ダブルクリック 】

タッチパッドを 1 回軽くたたくとクリック、2 回たたくとダブルクリックができます。

【 ドラッグアンドドロップ 】

タッチパッドを続けて 2 回たたき、2 回目はタッチパッドから指を離さずに目的の位置まで移動し、指を離します。





参照 関連情報は
『さあ始めよう 2 章 1 タッチパッド／マウスと CD ／ DVD』

③ タッチパッドを無効／有効にするには

［タッチパッド ON/OFF］タブでは、タッチパッドによる操作を無効にしたり、有効にしたりすることができます。



【 タッチパッドの ON/OFF 】

［有効］をチェックするとタッチパッドが使用可能になり、［無効］をチェックするとタッチパッドからの操作ができなくなります。
タッチパッドの無効／有効は、Fn＋F9キーでも切り替えることができます。
Fn＋F9キーでタッチパッドの操作を有効にした場合、タッチパッドの操作中にカーソルの動きが不安定になることがあります。そのような場合は、1度タッチパッドから手を離してください。しばらくすると、正常に操作できるようになります。

役立つ操作集　ポインタの形や速度を変える

［マウスのプロパティ］では、ポインタの形や速さなどを変えることができます。
［ポインタ］タブでは形を、［ポインタオプション］タブでは速さとポインタを動かしたときの軌跡などを設定できます。



ヘルプの起動方法

1 ［マウスのプロパティ］画面を起動後、画面右上の ? をクリックする

ポインタが に変わります。

2 画面上の知りたい項目にポインタを置き、クリックする

4 PadTouch 機能を使う

「PadTouch（パッドタッチ）」は、タッチパッドの操作により、さまざまな機能を簡単に実行できるアプリケーションです。
次のようなときに使用すると便利です。

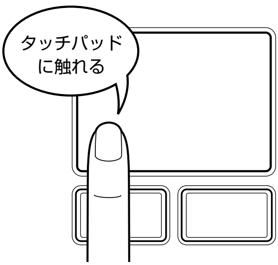
- ウィンドウでデスクトップが隠れているときに、デスクトップ上のファイルを開きたい
- Internet Explorer の［お気に入り］に登録されているホームページを開きたい
- 現在実行中のウィンドウの一覧を表示して、アクティブなウィンドウを切り替えたい

「PadTouch」は、購入時の状態ではパソコンに電源を入れると自動的に起動し、通知領域にアイコン（ ）が表示されます。

1 使用方法

次のように操作して、PadTouch を使用してください。

1 タッチパッドのコーナーに数秒間触わる



このとき、指を動かさないで触ったままにしてください。

PadTouch の画面が表示されます。
表示される画面のことを、PadTouch では「テーブル」と呼びます。丸い形状のものは、テーブル上のどこが操作対象になるのかを示すポインタです。タッチパッドに触ったまま指をすべらせると、テーブル上をポインタが動きます。

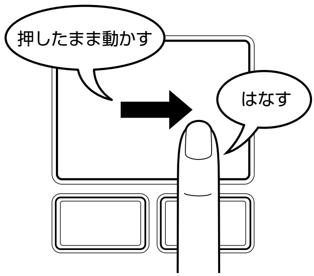


表示されているテーブルは、タッチパッドの左下コーナーに触れた場合に起動する［お気に入り］のテーブルです。
起動するテーブルは、タッチパッドのどこに触れるかによって違います。購入時は、次のように設定されています。

右上コーナーの場合	［ウィンドウ切り替え］テーブル
右下コーナーの場合	［デスクトップ］テーブル
左上コーナーの場合	［dynabook オリジナルツール］テーブル
左下コーナーの場合	［お気に入り］テーブル

2 ポインタを目的のアイコンにあわせ、タッチパッドから手をはなす





ポインタをあわせたアイコンのプログラムなどが起動します。



手をはなしてプログラムなどを起動させた場合、それまで表示されていたテーブルは自動的に消えます。
何も選択しないでテーブルを消したい場合は、［閉じる］アイコン（ ）にポインタをあわせた状態、または、どのアイコンにもポインタをあわせていない状態で、タッチパッドから手をはなしてください。

2 設定方法

PadTouch では、起動するプログラムや画面デザインなどを設定することができます。
次のように操作して、設定画面を起動してください。

1 タッチパッドのコーナーに触れてテーブルを表示し、［設定］にカーソルをあわせて手をはなす

PadTouch の設定画面が表示されます。

設定の詳細については、ヘルプを参照してください。

3 PadTouchを無効にする方法

PadTouch を無効にするには、次のように操作してください。

1 通知領域の［PadTouch］アイコン（ ）を右クリックし、表示されたメニューから［無効にする］をクリックする

PadTouch が使用できなくなります。

再び PadTouch を使用したい場合は、通知領域の［PadTouch］アイコン（ ）を右クリックし、表示されたメニューから［有効にする］をクリックしてください。

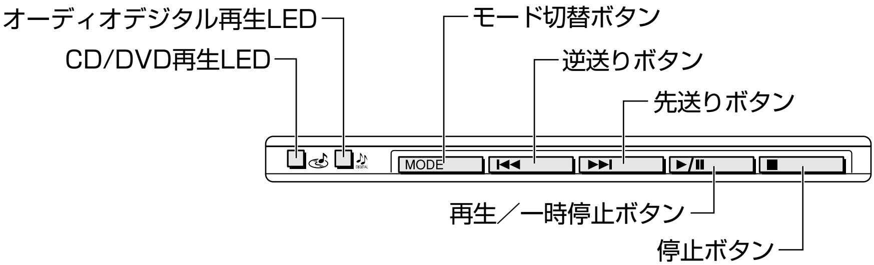
ヘルプの起動方法

1 通知領域の［PadTouch］アイコン（ ）を右クリックし、表示されたメニューから［ヘルプ］をクリックする

5 ボタン

1) オーディオボタン

音楽 CD や DVD、音楽ファイルを再生するときに、オーディオボタンを使って操作することができます。



LED の点灯状況によって、モードが異なります。

LED	モード	操作方法
CD/DVD 再生 LED 点灯	CD ／ DVD 再生モード CD ／ DVD を再生できます。	「2 章 1 音楽 CD を聴く」 「2 章 4 DVD-Video を観る」
オーディオデジタル再生 LED 点灯	オーディオデジタル再生モード 音楽ファイルを再生できます。	「2 章 2 音楽ファイルを聴く」
LED 消灯	オーディオボタンは使用できません。	

1 操作するアプリケーションを変更する

オーディオボタンを使用したときに操作するアプリケーションを設定します。

1 ［コントロールパネル］を開き、［ プリンタとその他のハードウェア］をクリックする

2 ［ 東芝コントロール］をクリックする

［東芝コントロールのプロパティ］画面が表示されます。

3 ［メディアアプリケーション］タブで変更するモードの右の ▼ ボタンをクリックする

CD ／ DVD 再生モードの場合は［CD オーディオコントロール］と［DVD ビデオコントロール］、オーディオデジタル再生モードの場合は［オーディオ / ビデオコントロール］で設定します。



4 アプリケーションを選択して、［OK］ボタンをクリックする

2 ワンタッチボタン

本製品には、簡単にインターネットブラウザソフトやメールソフトなどを起動することができる、3 つのワンタッチボタンがあります。

各ボタンを押すと設定されているアプリケーションが起動します。
起動するアプリケーションは、「東芝コントロール」で自由に変更できます。購入時に各ボタンに設定されているアプリケーションは次のとおりです。

- インターネットボタン .... Internet Explorer
- メールボタン .... Microsoft Office Outlook
- サイバーサポートボタン .... サイバーサポート

【 パソコン本体の電源が入っていないとき 】

電源が入り、Windows 起動後、設定されているアプリケーションが起動します。

【 スタンバイ状態／休止状態のとき 】

スタンバイ状態／休止状態を実行する直前の状態が再現されてから、設定されているアプリケーションが起動します。

1 ボタンに割り当てるアプリケーションを変更する

各ボタンを押したときに起動するアプリケーションや、動作を設定することができます。

1 **［コントロールパネル］を開き、［ プリンタとその他のハードウェア］をクリックする**

2 **［ 東芝コントロール］をクリックする**

［東芝コントロールのプロパティ］画面が表示されます。

3 **［ボタン］タブで変更するボタン名の下の ボタンをクリックする**

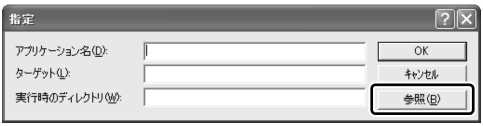


ボタンに設定できる動作の一覧が表示されます。

4 **［アプリケーションの指定］を選択する**

［指定］画面が表示されます。
このとき、他の項目を選択した場合は手順８に進んでください。

5 **［参照］ボタンをクリックする**



［ファイルを開く］画面が表示されます。

6 **ボタンに設定したいアプリケーション名をクリックし、［開く］ボタンをクリックする**

［指定］画面に戻ります。
［アプリケーション名］に、選択したアプリケーション名が表示されていることを確認してください。

7 [OK] ボタンをクリックする

[東芝コントロールのプロパティ] 画面に戻ります。
割り当てたいボタンの欄に、選択したアプリケーション名が表示されていることを確認してください。



8 [OK] ボタンをクリックする

6 ディスプレイ

本製品には表示装置としてTFTワイドカラー液晶ディスプレイ（1280×800ドット）が内蔵されています。ドットは画素数を表します。外部ディスプレイを接続して使用することもできます。

参照 外部ディスプレイの接続について
『応用にチャレンジ 2章 5 外部ディスプレイを接続する』

表示について

TFT方式のカラー液晶ディスプレイは非常に高精度な技術を駆使して作られています。非点灯、常時点灯などの表示が存在することがありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

1 ディスプレイの設定

このパソコンのディスプレイは、色や壁紙など、さまざまな表示を設定できます。

1 表示可能色数

設定した解像度によって、次にあげる色数まで表示できます。

2048×1536ドット	1,677万色
1920×1440ドット	
1600×1200ドット	
1280×1024ドット	
1280×800ドット	
1024×768ドット	
800×600ドット	

1280×1024ドット以上は仮想スクリーン表示になります。

メモ

- 1,677万色はディザリング表示です。
  ディザリングとは、1画素（画像表示の単位）では表現できない色（輝度）の階調を、数画素の組み合わせによって表現する方法です。
- 内部液晶ディスプレイへの表示の場合、1,677万色はディザリング表示です。内部液晶ディスプレイの解像度よりも小さい解像度で表示する場合、初期設定では表示領域部が画面いっぱいに大きく表示されます。内部液晶ディスプレイの解像度よりも大きい解像度で表示する場合は仮想スクリーン表示となります。

2 デスクトップ表示を変える

デスクトップのデザインやスクリーンセーバなどを、［コントロールパネル］の［デスクトップの表示とテーマ］画面で変更できます。

1 ［コントロールパネル］を開き、［ デスクトップの表示とテーマ］をクリックする

［デスクトップの表示とテーマ］画面が表示されます。



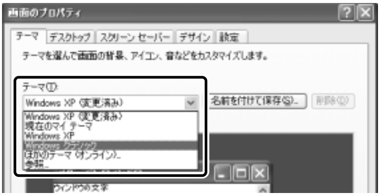
デスクトップのテーマを変える

テーマを選んで画面の背景、アイコン、音などを変更できます。

1 ［デスクトップの表示とテーマ］画面で［テーマを変更する］をクリックする

［画面のプロパティ］画面が表示されます。

2 ［テーマ］タブの［テーマ］で ボタンをクリックし、目的のテーマを選択する



画面は、［Windows クラシック］を選択する場合の表示例です。

3 ［OK］ボタンをクリックする

壁紙を変える

デスクトップの壁紙（背景）を、Windows に用意されているイラストや模様に変更することができます。ファイルの場所を指定すると、好きなイラストに変更できます。

1 ［デスクトップの表示とテーマ］画面で［デスクトップの背景を変更する］をクリックする

［画面のプロパティ］画面が表示されます。

2 ［デスクトップ］タブの［背景］で、目的の画像を選択する



パソコンの画面の中にプレビューが表示されます。
画面は［草原］を選択する場合の表示例です。

- 指定できる画像ファイル
  bmp、gif、jpeg、html ファイルなどが使用できます。
- 画像の位置を指定する
  画像ファイルの種類によっては、デスクトップに対して、画像の表示位置を指定できます。
  ［表示位置］で［中央に表示］、［並べて表示］、［拡大して表示］から選択します。

3 ［OK］ボタンをクリックする

スクリーンセーバを使う

好みのスクリーンセーバを選択し、スクリーンセーバを表示させるまでの時間を設定できます。

1 ［デスクトップの表示とテーマ］画面で［スクリーンセーバーを選択する］をクリックする

［画面のプロパティ］画面が表示されます。

2 ［スクリーンセーバー］タブの［スクリーンセーバー］で ボタンをクリックし、目的のスクリーンセーバを選択する



画面は［Windows XP］を選択する場合の表示例です。

スクリーンセーバによっては、パソコンの絵の中にプレビューが表示されます。［プレビュー］ボタンをクリックすると、画面全体にスクリーンセーバのプレビューが表示されます。プレビューを中止したい場合は、タッチパッドを操作してください。

- ［待ち時間］の時間（分単位）を設定する
  例えば、「5」に設定すると、パソコンの電源を入れた状態で5分間、タッチパッドを操作せず、キーボードから入力を行わなかったとき、スクリーンセーバが表示されます。
- ［パスワードによる保護］または［再開時にようこそ画面を表示する］
  チェックすると、スクリーンセーバ解除時にパスワードの入力画面を表示します。

3 ［OK］ボタンをクリックする

動作中のスクリーンセーバを解除するには、Shiftキーや Ctrlキーを押すか、タッチパッドの操作を行ってください。
［パスワードによる保護］または［再開時にようこそ画面を表示する］をチェックしている場合は、パスワードの入力画面が表示されます。
Windows のログオンパスワードを入力してください。

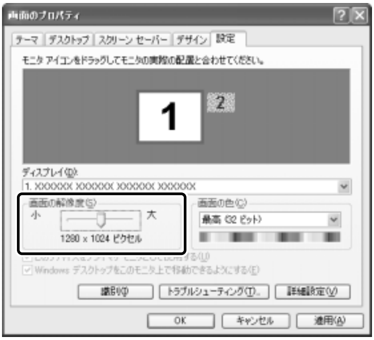
解像度を変更する

解像度を変更すると、画面上のアイコン、テキスト、その他の項目が大きく、または小さく表示されます。外部ディスプレイを接続した場合など、購入時の設定では見にくい場合は、次の手順で変更できます。

1 ［デスクトップの表示とテーマ］画面で［画面解像度を変更する］をクリックする

［画面のプロパティ］画面が表示されます。

2 ［設定］タブの［画面の解像度］で、解像度を変更する



3 ［OK］ボタンをクリックする

ウィンドウの色を変える

ウィンドウ、アクティブタイトルバー、メッセージボックスの配色を変更できます。

1 ［デスクトップの表示とテーマ］画面で［ 画面］をクリックする

［画面のプロパティ］画面が表示されます。

2 ［デザイン］タブの［配色］で、 ボタンをクリックし、配色を選択する



プレビューが表示されます。
画面は、［オリーブグリーン］を選択する場合の表示例です。

3 ［OK］ボタンをクリックする

液晶ディスプレイの取り扱い

画面の手入れ

- 画面の表面には偏光フィルムが貼られています。このフィルムは傷つきやすいので、むやみに触れないでください。
  表面が汚れた場合は、柔らかくきれいな布で拭き取ってください。水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。
- 無理な力の加わる扱いかた、使いかたをしないでください。
  液晶ディスプレイは、ガラス板間に液晶を配向処理して注入してあります。強い力を加えると配向が乱れ、発色や明るさが変わって元に戻らなくなる場合があります。また、ガラス板を破損するおそれもあります。
- 水滴などが長時間付着すると、変色やシミの原因になるので、すぐに拭き取ってください。

バックライト用蛍光管について

液晶ディスプレイに表示されている内容を見るためにバックライト用蛍光管が内蔵されています。バックライト用蛍光管は、消耗品となります。使用するにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。表示画面が見づらくなったときは、使用している機種を確認後、購入店、または保守サービスに相談してください。

7 ハードディスクドライブ

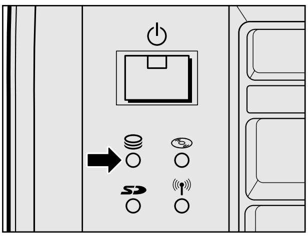
内蔵されているハードディスクドライブは、取りはずしできません。
PC カードタイプ（TYPE Ⅱ）のハードディスクなどを使用して記憶容量を増やすことができます。

お願い **操作にあたって**

- Disk LED が点灯中は、パソコン本体を動かしたりしないでください。ハードディスクドライブが故障したり、データが消失するおそれがあります。
- ハードディスクに保存しているデータや重要な文書などは、万一故障が起こったり、変化／消失した場合に備えて、定期的にフロッピーディスクや CD ／ DVD などに保存しておいてください。記憶内容の変化／消失など、ハードディスク、フロッピーディスク、CD ／ DVD などに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 磁石、スピーカ、テレビ、磁気ブレスレットなど磁気を発するものの近くに置かないでください。記憶内容が変化／消失するおそれがあります。
- パソコン本体を落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。ハードディスクの磁性面に傷が付いて、使えなくなることがあります。磁性面に付いた傷の修理はできません。

ハードディスクドライブに関する表示

内蔵のハードディスクとデータをやり取りしているときは、Disk LED が点灯します。



PC カードタイプや i.LINK（IEEE1394）対応などの増設ハードディスクとのデータのやり取りでは、Disk LED は点灯しません。

ハードディスクに記録された内容は、故障や損害の原因にかかわらず保証できません。万一故障した場合に備え、バックアップをとることを推奨します。

8 サウンド機能

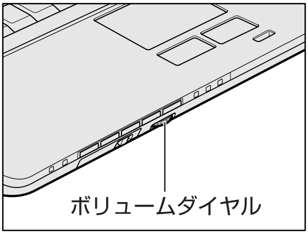
本製品はサウンド機能を内蔵し、スピーカがついています。

1) スピーカの音量を調整する

標準で音声、サウンド関係のアプリケーションがインストールされています。
スピーカの音量は、ボリュームダイヤル、または Windows のボリュームコントロールで調整できます。

1 ボリュームダイヤルで調整する

音量を大きくしたいときには右に、小さくしたいときには左に回します。



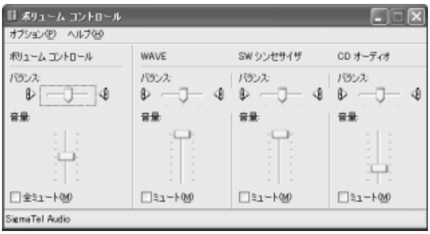
2 ボリュームコントロールで調整する

再生したいファイルごとに音量を調整したい場合、次の方法で調整できます。

1 **［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［エンターテイメント］→［ボリュームコントロール］をクリックする**

2 **それぞれのつまみを上下にドラッグして調整する**

つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。［ミュート］をチェックすると消音となります。



【 音楽／音声を再生するとき 】

ボリュームコントロールの各項目では次の音量が調整できます。

ボリュームコントロール	全体の音量を調整する
WAVE	MP3 ファイル、Wave ファイル、音楽 CD（BeatJam、Windows Media Player の場合）、DVD-Video など
CD オーディオ	音楽 CD（BeatJam、Windows Media Player 以外の場合）

また、使用するアプリケーションにより異なる場合があります。詳しくは『アプリケーションに付属の説明書』または『ボリュームコントロールのヘルプ』を確認してください。

2 音楽／音声の録音レベルを調整する

録音レベルの調整は、次のように行います。

1 パソコン上で録音するとき

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［エンターテイメント］→［ボリュームコントロール］をクリックする

2 メニューバーの［オプション］→［プロパティ］をクリックする

3 ［音量の調整］で［録音］をチェックする

4 ［表示するコントロール］で表示項目を確認する

［マイク］がチェックされていることを確認します。

5 ［OK］ボタンをクリックする

6 ［録音コントロール］画面で、使用するデバイスの［選択］をチェックする

［マイク］：マイクから録音するとき

7 選択したデバイスのつまみで音量を調節する

同時に 2 つのデバイスを選択することはできません。

録音したい音楽／音声がボリュームコントロールの［WAVE］対応の場合、録音するときも［WAVE］の音量により影響を受けます。

③ サウンドのパワーマネージメントを設定する

本製品では、サウンドコントローラのパワーマネジメント機能を設定できるようになっています。
この機能が有効になっていると、サウンド機能が使われていないときにサウンドコントローラの電源を切ることができ、消費する電力を少し節約することができます。
購入時は、本機能が有効に設定されています。
消費電力の節約の程度は、バッテリの状態によって異なります。

1 ［スタート］→［コントロールパネル］をクリックする

2 ［関連項目］の［コントロールパネルのその他のオプション］をクリックする

3 ［ SigmaTel Audio］をクリックする

4 ［詳細］タブで［省電力機能を有効にする］をチェックする



5 ［節電モードに入るまでの時間］に待ち時間（秒）を設定する

通常 5 秒～ 10 秒程度が適当です。

6 ［OK］ボタンをクリックする

メモ

［イコライザ］タブでは、各周波数のゲインを調整し、お好みの音質に設定できます。

9 ドライブ

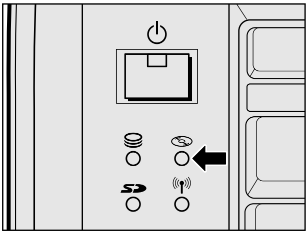
本製品には、DVD マルチドライブが 1 台内蔵されています。
DVD マルチドライブは DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、CD-RW、CD-R の読み出し／書き込み機能を搭載したドライブです。
『安心してお使いいただくために』に、CD ／ DVD を使用するときに守ってほしいことが記述されています。
CD ／ DVD を使用する場合は、あらかじめその記述をよく読んで、必ず指示を守ってください。

お願い DVD-Video の再生にあたって

- DVD-Video 再生時は、なるべく AC アダプタを接続してください。省電力機能が働くと、スムーズな再生ができない場合があります。バッテリ駆動で再生する場合は「東芝省電力」で「DVD 再生」プロファイルに設定してください。
- 使用する DVD ディスクのタイトルによっては、コマ落ちしたり、マルチアングルシーンで一時停止ができない場合があります。

ドライブに関する表示

パソコン本体の電源が入っている場合、ドライブが動作しているときは、CD-ROM LED が点灯します。



1 使用できるメディアと対応するアプリケーション

使用できるメディアと、本製品に付属のアプリケーションで書き込みできるメディアは次のとおりです。

【 使用できるメディア 】

○：使用できる　×：使用できない

	CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD-RW	DVD-RAM	DVD+R	DVD+RW
読み出し	○	○	○*1	○*1	○*1	×	×
書き込み回数	1回	繰り返し書換可能*2	1回	繰り返し書換可能*2	繰り返し書換可能*2	×	×

＊1　使用するメディアによっては、読み出しができない場合があります。
＊2　実際に書き換えできる回数は、メディアの状態や書き込み方法により異なります。

【 アプリケーションとメディア 】

「Drag'n Drop CD+DVD」「WinDVD Creator 2 Platinum」は本製品に付属のアプリケーションです。

○：使用できる　×：使用できない

	CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD-RW	DVD-RAM*3
Drag'n Drop CD+DVD	○	○	○*2	○*2	×
WinDVD Creator 2 Platinum (DVD-Videoフォーマット*1)	×	×	○	○	○
WinDVD Creator 2 Platinum (-VR フォーマット*1)	×	×	×	×	○

＊1　映像を書き込むときの記録形式です。表に記載されている形式でのみ書き込みできます。
DVD-Video フォーマットで記録された DVD-RW、DVD-R は、DVD-RW、DVD-R に対応した DVD プレーヤ、パソコン、ゲーム機など色々な環境で再生できます（一部の機器では再生できない場合があります）。
DVD-Video フォーマットで記録された DVD-RAM は、本製品にインストールされている「InterVideo WinDVD」でのみ再生可能となります。
-VR フォーマットで記録された DVD-RAM は、DVD-RAM 機能が搭載され、-VR フォーマットに対応した DVD レコーダなどで再生できます（一部の機器では再生できない場合があります）。

映像データを -VR フォーマットで DVD-RAM に記録する、または -VR フォーマットで記録された DVD-RAM の映像データを編集する場合は、「WinDVD Creator 2 Platinum」の「ディスクマネージャ」を使用してください。

＊2 DVD-Video、DVD-Audio の作成や音楽情報の書き込みはできません。また、DVD プレーヤなどで使用することはできません。

＊3 パソコンで作成した文書データなどのファイルを DVD-RAM に書き込む場合は、［マイコンピュータ］で目的のファイルやフォルダをドライブにコピーしてください。

参照 ファイルやフォルダのコピー
『さあ始めよう 2 章 6- ❷ ファイルやフォルダをコピーする』

なお、新品の DVD-RAM は、使用前にフォーマットが必要です。

参照 フォーマット「本節 ❹ DVD-RAM を使うときは」

2 使用できる CD

読み出しできる CD は、次の種類です。
対応フォーマットによっては再生ソフトが必要な場合があります。

- 音楽用 CD
  8cm または 12cm の音楽用 CD が聴けます。
- フォト CD
  普通のカメラで撮影した写真の画像をデジタル化して記録したものです。
- CD-ROM
  使用するシステムに適合する ISO 9660 フォーマットのものが使用できます。
- CD エクストラ
  記録領域は音楽データ用とパソコンのデータ用に分けられています。それぞれの再生装置で再生できます。
- CD-R
- CD-RW

書き込みできる CD は、次の種類です。

- CD-R
  書き込みは 1 回限りです。書き込まれたデータの削除・変更はできません。
- CD-RW
  マルチスピード、High-Speed の CD-RW メディアが使用できます。
  Ultra Speed CD-RW メディアは使用できません。使用した場合、データは保証できません。

書き込み速度は、使用するメディアによって異なります。

- CD-R メディア ： 最大 16 倍速
  最大の倍速で書き込むためには書き込み速度に対応した CD-R メディアを使用してください。
- マルチスピード CD-RW メディア ： 最大４倍速
- High-Speed CD-RW メディア ： 最大８倍速

お願い CD-RW、CD-R について

- CD-RW、CD-R に書き込む際には、次のメーカの CD-RW、CD-R を使用することを推奨します。
  CD-RW（マルチスピード、High-Speed）
  ： 三菱化学（株）、（株）リコー
  CD-R ： 太陽誘電（株）、三菱化学（株）、（株）リコー、日立マクセル（株）
  これらのメーカ以外の CD-RW、CD-R を使用すると、うまく書き込みができない場合があります。
- CD-R に書き込んだデータの消去はできません。
- CD-RW の消去されたデータを復元することはできません。消去の際は、メディアの内容を十分に確認してから行ってください。
- 書き込み可能なドライブが複数台接続されている際には、書き込み・消去するメディアをセットしたドライブを間違えないよう十分に注意してください。
- ハードディスクに不良セクタがあると書き込みに失敗するおそれがあります。定期的に「エラーチェック」でクラスタのチェックを行うことをおすすめします。
  参照 エラーチェック《サイバーサポート》
- ドライブの構造上、メディアの傷、汚れ、ホコリ、チリなどにより読み出し／書き込みができなくなる場合があります。CD-RW、CD-R にデータなどを書き込む際は、メディアの状態をよくご確認ください。

3 使用できる DVD

読み出しできる DVD は、次の種類です。
対応フォーマットによっては再生ソフトが必要な場合があります。

- DVD-ROM
- DVD-Video（映像再生用です。映画などが収録されています）
- DVD-R
- DVD-RW
- DVD-RAM

書き込みできるDVDは次の種類です。

- DVD-R
  書き込みは1回限りです。書き込まれたデータの削除・変更はできません。
  DVD-Rは、DVD-R for General Ver2.0規格に準拠したメディアを使用してください。
- DVD-RW
  DVD-RWは、DVD-RW Ver1.1規格に準拠したメディアを使用してください。
- DVD-RAM
  DVD-RAMは、DVD-RAM Ver2.0または2.1規格に準拠したメディアを使用してください。

【 DVD-RAMの種類 】

DVD-RAMにはいくつかの種類があります。本製品のドライブで使用できるDVD-RAMは次のとおりです。
カートリッジタイプのメディアは、カートリッジから取り出してドライブにセットしてください。両面ディスクで、読み出し／書き込みする面を変更するときは、一度ドライブからメディアを取り出し、裏返してセットし直してください。

○：使用できる　×：使用できない

DVD-RAMの種類	本製品の対応
カートリッジなし＊1	○
カートリッジタイプ（取り出し不可）	×
カートリッジタイプ（取り出し可能）＊2	○

＊1　一部の家庭用DVDビデオレコーダでは再生できない場合があります。
＊2　2.6GB、5.2GBのディスクは書き込みできません。

お願い　DVD-RAM、DVD-RW、DVD-Rについて

- DVD-RAM、DVD-RW、DVD-Rに書き込む際には、次のメーカのDVD-RAM、DVD-RW、DVD-Rを使用することを推奨します。
  DVD-RAM　：松下電器産業（株）
  DVD-RW　：日本ビクター（株）、TDK（株）
  DVD-R　：松下電器産業（株）、太陽誘電（株）、パイオニア（株）

  これらのメーカ以外のDVD-RAM、DVD-RW、DVD-Rを使用すると、うまく書き込みができない場合があります。
- DVD-Rに書き込んだデータの消去はできません。

- DVD-RW に書き込んだデータの一部を削除することはできません。書き込まれたデータの変更は、まずすべてのデータを消去し、改めて必要なデータだけを再書き込みする必要があります。
- DVD-RW の消去されたデータを復元することはできません。消去の際は、メディアの内容を十分に確認してから行ってください。
- 書き込み可能なドライブが複数台接続されている際には、書き込み・消去するメディアをセットしたドライブを間違えないよう十分に注意してください。
- DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R への書き込みでは、ファイルの管理領域なども必要になるため、必ずしもメディアに記載された容量分のデータを書き込むことはできません。
- DVD-RW、DVD-R への書き込みでは、DVD の規格に準拠するため、書き込むデータのサイズが約 1GB に満たない場合にはダミーのデータを加えて、最小 1GB のデータに編集して書き込みます。このため、実際に書き込もうとしたデータが少ないにもかかわらず、書き込み完了までに時間がかかることがあります。
- ハードディスクに不良セクタがあると書き込みに失敗するおそれがあります。定期的に「エラーチェック」でクラスタのチェックを行うことをおすすめします。

参照 エラーチェック《サイバーサポート》

- ドライブの構造上、メディアの傷、汚れ、ホコリ、チリなどにより読み出し／書き込みができなくなる場合があります。DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R にデータなどを書き込む際は、メディアの状態をよくご確認ください。
- DVD-RAM をドライブにセットしたとき、システムが DVD-RAM を認識するまでに多少時間がかかります。

メモ

- 市販のDVD-Rには業務用メディア（for Authoring）と一般用メディア（for General）があります。業務用メディアはパソコンのドライブでは書き込みすることができません。
  一般用メディア（for General）を使用してください。
- 市販の DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R には「for Data」と「for Video」の２種類があります。映像を保存する場合や家庭用 DVD ビデオレコーダとの互換性を重視する場合は「for Video」を使用してください。

4 DVD-RAMを使うときは

ここでは、DVD-RAMに書き込みをする前に必要な操作について説明します。

1 フォーマットとは

新品のDVD-RAMは、使用する目的にあわせて「フォーマット」という作業が必要です。
フォーマットとは、DVD-RAMにデータの管理情報（ファイルシステム）を記録し、DVD-RAMを使えるようにすることです。
フォーマットされていないDVD-RAMは、フォーマットしてから使用してください。
ここでは、ファイルシステムとフォーマット方法について簡単に説明します。詳細はPDFマニュアルを確認してください。

参照 「本項 2-PDFマニュアルの起動方法」

お願い

フォーマットを行うと、そのDVD-RAMに保存されていた情報はすべて消去されます。一度使用したDVD-RAMをフォーマットする場合は注意してください。

ファイルシステム

DVD-RAMをフォーマットするときにファイルシステムを選択します。
ファイルシステムは、書き込むデータの種類や書き込み後のメディアを使用する機器に応じて選択します。また、映像データを書き込むときは、書き込み用のアプリケーションによって指定されている場合があります。
選択できるファイルシステムは「UDF2.0」「UDF1.5」「FAT32」です。

【 UDF2.0 】

DVD-VR形式に対応したファイルシステムです。
家庭用DVDビデオレコーダとの互換性があります。

【 UDF1.5 】

本製品で使用しているシステムの標準の機能で読み出しできるファイルシステムです。このファイルシステムのメディアは、本製品以外のWindows XP／2000＊1がインストールされたパソコン＊2でもデータを読み出すことができます。
家庭用DVDビデオレコーダとの互換性はありません。

＊1　Windows 2000 ... Microsoft® Windows® 2000 Professional operating System 日本語版

＊2　DVD-RAM ドライブが搭載されていないパソコンで DVD-RAM を読み出すためには、DVD-RAM の読み出しに対応した DVD ドライブが搭載されている必要があります。

【 FAT32 】

本製品で使用しているシステムの標準の機能で読み出し／書き込みできるファイルシステムです。このファイルシステムのメディアは、本製品以外の Windows XP ／ Me ＊1 ／ 98 ＊2 がインストールされたパソコン＊3 でもデータを読み出すことができます。家庭用 DVD ビデオレコーダとの互換性はありません。

＊1　Windows Me .... Microsoft® Windows® Millennium Edition operating System 日本語版

＊2　Windows 98 ..... Microsoft® Windows® 98 SECOND Edition operating System 日本語版

＊3　DVD-RAM ドライブが搭載されていないパソコンで DVD-RAM を読み出すためには、DVD-RAM の読み出しに対応した DVD ドライブが搭載されている必要があります。

2 フォーマット方法

Windows でのフォーマット方法を簡単に説明します。

1 フォーマットする DVD-RAM をセットする

参照 DVD-RAM のセット『さあ始めよう 2 章 1-❸ CD ／ DVD』

2 ［スタート］→［マイ コンピュータ］をクリックする

［マイ コンピュータ］画面が表示されます。

3 ［ DVD-RAM ドライブ（D:)］をクリックする

［DVD-RAM ドライブ（D:)］が選択され、アイコンの色が反転します。

4 メニューバーの［ファイル］をクリックし①、表示されたメニューから［フォーマット］をクリックする②

アイコンを右クリックして表示されるメニューからも選択できます。



［DVDForm - D ドライブ］画面が表示されます。

5 ［ドライブ］と［フォーマット種別］を選択する

映像を書き込み、家庭用DVDビデオレコーダで再生するためのDVD-RAMを作成する場合は、［ユニバーサルディスクフォーマット（UDF2.0）］を選択してください。
パソコンで使用するためのDVD-RAMを作成する場合は、［ユニバーサルディスクフォーマット（UDF1.5）］を選択してください。

6 ボリュームラベル名を入力する

UDF形式を選択した場合は、必ず入力してください。

7 ［開始］ボタンをクリックする

物理フォーマットを行う場合は、［物理フォーマットを実行する］をチェックしてから、［開始］ボタンをクリックしてください。
物理フォーマットを行うと、DVD-RAM上の全セクタを検査し、不良セクタの代替処理を行います（通常は行う必要はありません）。物理フォーマットを行う場合は、フォーマットが完了するまでに時間がかかります。

メッセージが表示されます。

8 メッセージの内容を確認し、［はい］ボタンをクリックする

フォーマットが開始されます。

画面下のバーは進行状況を示しています。フォーマットが完了すると、メッセージが表示されます。

9 メッセージの内容を確認し、［OK］ボタンをクリックする

これで、フォーマットは完了です。
他のDVD-RAMも続けてフォーマットする場合は、DVD-RAMを入れ替えて、手順5から実行します。
フォーマットを終了する場合は、［DVDForm - Dドライブ］画面で［閉じる］ボタンをクリックしてください。

PDFマニュアルの起動方法

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［DVD-RAM］→［DVD-RAMドライバー］→［DVD-RAMディスクの使い方］をクリックする

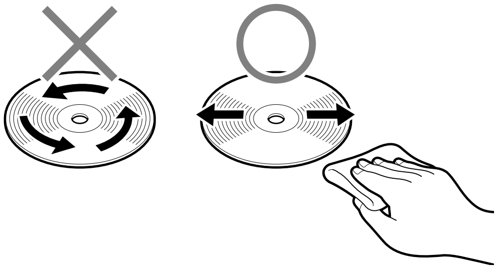
「Adobe Reader」が起動し、PDFマニュアルが表示されます。

CD ／ DVD の取り扱いと手入れ

CD ／ DVD の内容は故障の原因にかかわらず保障いたしかねます。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってください。

- 傷、汚れをつけないよう、取り扱いには十分にご注意ください。
- CD ／ DVD を折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CD ／ DVD を読み込むことができなくなります。
- CD ／ DVD を直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CD ／ DVD の上に重いものを置かないでください。
- CD ／ DVD は専用のケースに入れ、清潔に保護してください。
- CD ／ DVD を持つときは、外側の端か、中央の穴のところを持つようにしてください。データ記憶面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。
- CD ／ DVD のデータ記憶面に文字などを書かないでください。
- CD ／ DVD のレーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンなどを使用してください。ボールペンなど、先の硬いものを使用しないでください。
- CD ／ DVD が汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で拭き取ってください。

  円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状に拭くようにしてください。乾燥した布では拭き取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。

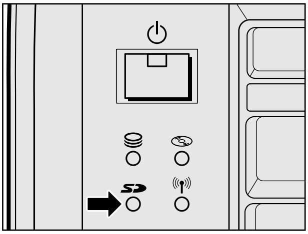


10 SD メモリカード

SD メモリカードを SD カードスロットに差し込んで、データの読み出しや書き込みができます。

1 SDカードスロットに関する表示

パソコン本体に電源が入っている場合、SD メモリカードとデータをやり取りしているときは、SD Card LED が点灯します。



1) SD メモリカードについて

本製品の SD カードスロットでは、マルチメディアカードは使用できません。

お願い SD メモリカードの使用にあたって

- SD メモリカードは、SDMI の取り決めに従って、デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぐための著作権保護技術を搭載しています。そのため、他のパソコンなどで取り込んだデータが著作権保護されている場合は、本製品でコピー、再生することはできません。SDMI とは Secure Digital Music Initiative の略で、デジタル音楽データの著作権を守るための技術仕様を決めるための団体のことです。
- あなたが記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- SD メモリカードは、デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぐ SDMI に準拠したデータを取り扱うことができます。メモリの一部を管理データ領域として使用するため、使用できるメモリ容量は表示の容量より少なくなっています。
- SDIO カードを使用する場合、必ず本製品で動作が確認されている製品＊[1] を使用してください。その他の SDIO カードを使用すると、システムの動作が不安定になることがあります。

＊1 2004 年 1 月現在、弊社製 SDIO カード「Bluetooth™ SD カード 2」（型番：PABSD001）のみ対応しています。

2 SD メモリカードのセットと取り出し

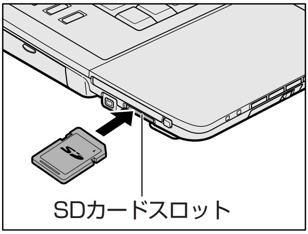
SD メモリカードを SD カードスロットに挿入することを「SD メモリカードをセットする」といいます。

お願い

- SD Card LED が点灯中は、電源を切ったり、SD メモリカードを取り出したり、パソコン本体を動かしたりしないでください。
  データや SD メモリカードが壊れるおそれがあります。
- SD メモリカードは無理な力を加えず、静かに挿入してください。正しく挿し込まれていない場合、パソコンの動作が不安定になったり、SD メモリカードが壊れるおそれがあります。

1 セット

1 SD メモリカードのラベルを貼られた面を上にして、SD カードスロットに挿入する



奥まで挿入します。

2 取り出し

1 SD メモリカードの使用を停止する

① 通知領域の［ハードウェアの安全な取り外し］アイコン（ ）をクリックする

② 表示されたメニューから［TOSHIBA SD Memory Card Drive- ドライブを安全に取り外します］をクリックする

③「安全に取り外すことができます」のメッセージが表示されたら、［閉じる］ボタン（ ）をクリックする

2 SD メモリカードを押す

カードが少し出てきます。そのまま手で取り出します。

3 SDメモリカードの内容を見る

著作権保護を必要としない画像や音声、テキストなどの一般的なファイルは、次の手順で見ることができます。

1 ［スタート］→［マイコンピュータ］をクリックする

［マイコンピュータ］画面が表示されます。

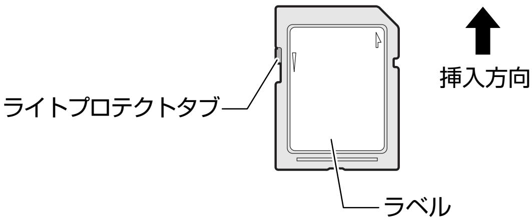
2 ［リムーバブルディスク（E:)］（標準値）をダブルクリックする

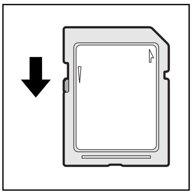
セットしたSD メモリカードの内容が表示されます。

3 SD メモリカードを使う前に

1 ライトプロテクトタブ

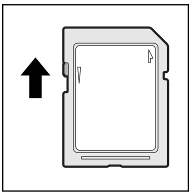
SD メモリカードは、ライトプロテクトタブを移動することにより、誤ってデータを消したりしないようにできます。





書き込み禁止状態

ライトプロテクトタブを挿入とは反対の方向へ移動させせます。この状態のSD メモリカードには、データの書き込みはできません。データの読み取りはできます。



書き込み可能状態

ライトプロテクトタブを挿入と同じ方向へ移動させせます。この状態のSD メモリカードには、データの書き込みも読み取りもできます。

2 SDメモリカードのフォーマット

フォーマットとは、SDメモリカードにトラック番号やヘッド番号などの基本情報を書き込み、SDメモリカードを使えるようにすることです。
新品のSDメモリカードは、SDメモリカードの規格にあわせてフォーマットされた状態で販売されています。
再フォーマットをする場合は、「東芝SDメモリカードフォーマット」またはSDメモリカードを使用する機器（デジタルカメラやオーディオプレーヤなど）で行ってください。
SDメモリカードを使用する機器でのフォーマット方法については、『使用する機器に付属の説明書またはヘルプ』を確認してください。

お願い

- Windows上（[マイコンピュータ] 画面）でSDメモリカードのフォーマットを行わないでください。デジタルカメラやオーディオプレーヤなど他の機器で使用できなくなる場合があります。
- 再フォーマットを行うと、そのSDメモリカードに保存されていた情報はすべて消去されます。1度使用したSDメモリカードを再フォーマットする場合は注意してください。

東芝SDメモリカードフォーマットを使ってフォーマットする

ここでは「東芝SDメモリカードフォーマット」を使用してフォーマットする方法を説明します。

お願い

「東芝SDメモリカードフォーマット」以外の、SDメモリカードを使用するアプリケーションはあらかじめ終了させてください。

1 SDメモリカードをセットする

参照 SDメモリカードのセットについて
「本節 ❷ SDメモリカードのセットと取り出し」

2 [スタート] → [すべてのプログラム] → [TOSHIBA] → [ユーティリティ] → [SDメモリカードフォーマット] をクリックする

[東芝SDメモリカードフォーマット] 画面が表示されます。

3 ［ドライブ］で、フォーマットしたいSDメモリカードがセットされているドライブを確認し、必要に応じて［フォーマットオプション］でフォーマットの種類を設定する



- 簡易フォーマット
  ファイルの削除のみを行い、すべての領域の初期化は行われません。
- 完全フォーマット
  SDメモリカードのすべての領域を初期化します。簡易フォーマットに比べて、フォーマットに時間がかかります。

4 ［スタート］ボタンをクリックする

メッセージが表示されます。

5 メッセージの内容を確認し、［OK］ボタンをクリックする

フォーマットが開始されます。

画面下のバーは進行状況を示しています。
フォーマットが完了すると、メッセージが表示されます。

6 メッセージの内容を確認し、［OK］ボタンをクリックする

これで、フォーマットは完了です。
フォーマットを終了する場合は、［終了］ボタンをクリックしてください。

SDメモリカードの取り扱い

SDメモリカードを取り扱うときには、次のことを守ってください。

- SDメモリカードに保存しているデータは、万一故障が起こったり、消失した場合に備えて、定期的に複製を作って保管するようにしてください。
  SDメモリカードに保存した内容の障害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- SDメモリカードの接触面（コンタクトエリア）を触らないでください。
  ごみや異物が付着したり、汚れると使用できなくなります。
- 強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境での使用、保管をしないでください。
  記録した内容が消えるおそれがあります。
- 高温多湿の場所、また腐食性のある場所での使用、保管をしないでください。
- 持ち運びや保管の際は、SDメモリカードに付属のケースに入れてください。
- SDメモリカードが汚れたときは、乾いた柔らかい素材の布で拭いてください。
- 新たにラベルやシールを貼らないでください。

2章

音楽と映像

音楽と映像を本製品で楽しむ方法について説明しています。

パソコンで音楽を聴く。それをCDに書き込んでオリジナルを作成する。写真やDVD-Videoの映像を観る。それを編集して個人コレクションを作るなど。パソコンの楽しみかたを紹介します。

1　音楽 CD を聴く

本製品では Windows を起動している状態でも、Windows を起動していない状態でも音楽 CD を聴くことができます。

> **メモ**
>
> 音楽 CD の再生中に、パソコン本体に振動・衝撃を与えると、音飛びすることがあります。

1　Windows を起動して音楽 CD を聴く

Windows を起動して音楽 CD を再生するためには、音楽 CD に対応したアプリケーションが必要です。
本製品には次のアプリケーションがインストールされています。

- BeatJam（ビートジャム）
- Windows Media Player（ウィンドウズ メディア プレーヤ）

1　起動方法

1　Windows が起動している状態で、音楽 CD をセットする

［Audio CD（D:)］画面が表示されます。

参照 CD のセットについて『さあ始めよう 2 章 1-❸ CD ／ DVD』

［Audio CD（D:)］画面が表示されない場合は、［マイ コンピュータ］で（D:）ドライブを右クリックし、［自動再生］をクリックしてください。

2　使用するアプリケーションを選択し、［OK］ボタンをクリックする

使用するアプリケーションが「BeatJam」の場合は［オーディオ CD の再生 BeatJam 使用］、「Windows Media Player」の場合は［オーディオ CD を再生します Windows Media Player 使用］を選択してください。
選択したアプリケーションが起動します。

「BeatJam」を起動したいのに［Audio CD（D:)］画面に［オーディオ CD の再生 BeatJam 使用］が表示されない場合は、［閉じる］ボタン（ ✕ ）をクリックして画面を終了し、［スタート］→［すべてのプログラム］→［JUSTSYSTEM アプリケーション］→［BeatJam］→［BeatJam］をクリックして起動してください。

BeatJamを初めて起動したとき

初めて起動したときは、［使用許諾契約の確認］画面が表示されます。契約内容を読んで、［同意する］ボタンをクリックしてください。［同意する］ボタンをクリックしないと、「BeatJam」を使用できません。

Windows Media Playerを初めて起動したとき

初めて起動したときは、［Windows Media Player 9 シリーズへようこそ］画面が表示されます。画面の指示に従ってプライバシーオプションとインストールオプションを設定してください。
インストールオプションの設定では、［ファイルの種類］タブで［DVD ビデオ］のチェックをはずしてください。



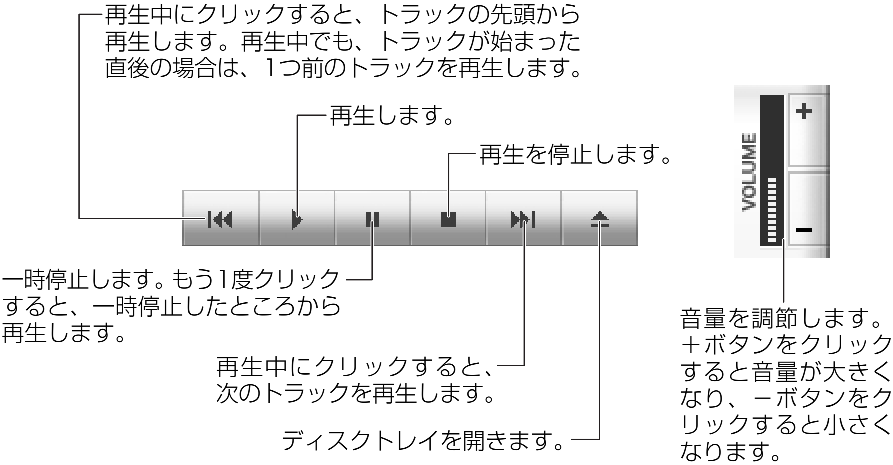
DVD-Videoの再生には、「InterVideo WinDVD」の使用を推奨します。

2 操作画面

アプリケーションごとの各操作ボタンの役割は次のとおりです。

BeatJamを起動した場合





【 ヘルプの起動方法 】

1 **「BeatJam」を起動後、メニューバーから［ヘルプ］→［BeatJamの使い方］をクリックする**

参照 「BeatJam」の問い合わせ先
『困ったときは 付録 1 アプリケーションの問い合わせ先』

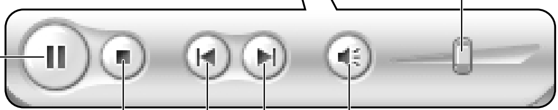
Windows Media Playerを起動した場合

Windows Media Playerの画面の上の方にポインタをあわせるとタイトルバーやメニューバーが表示されます。



再生／一時停止
再生または一時停止します。

音量
音量を調整します。



停止
再生を停止します。

ミュート
音を消します。

前へ
再生するトラックを1つ戻します。

次へ
再生するトラックを1つ進めます。

【 ヘルプの起動方法 】

1 「Windows Media Player」を起動後、メニューバーから［ヘルプ］→［トピックの検索］をクリックする

参照 「Windows Media Player」の問い合わせ先
『困ったときは 付録 1 アプリケーションの問い合わせ先』

3 オーディオボタンで操作する

オーディオボタンを使ってアプリケーションを起動したり、操作したりすることができます。
CD/DVD 再生 LED またはオーディオデジタル再生 LED のどちらかが点灯している場合は、すでにオーディオボタンが有効になっていますので、手順 1 の操作は必要ありません。

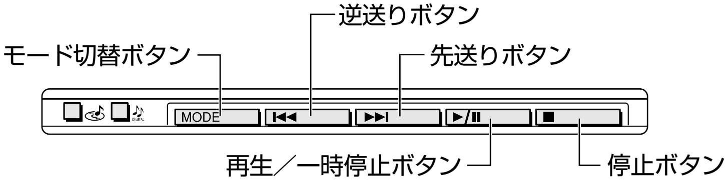
1 モード切替ボタンを 3 秒以上長押しする

CD/DVD 再生 LED が点灯し、オーディオボタンが有効になります。

2 CD/DVD 再生 LED が点灯するまでモード切替ボタンを押す

CD/DVD 再生 LED が点灯している場合、この操作は不要です。

3 再生／一時停止ボタンを押す



「東芝コントロール」で設定されているアプリケーションが起動し、オーディオボタンでも操作できます。

参照 「東芝コントロール」について
「1 章 5-❶-1 操作するアプリケーションを変更する」

標準では「BeatJam」が起動します。

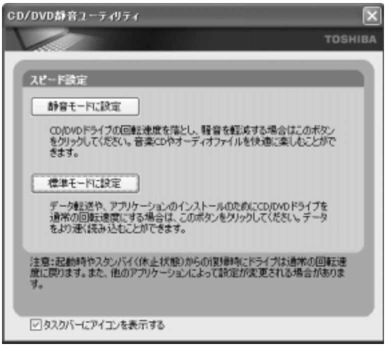
逆送りボタン	「BeatJam」の場合： 再生中にクリックすると、トラックの先頭から再生します。再生中でも、トラックが始まった直後の場合は、1 つ前のトラックを再生します。 「Windows Media Player」の場合： 1 つ前のトラックに戻って再生されます。
先送りボタン	再生するトラックを 1 つ進めます。
再生／一時停止ボタン	再生または一時停止します。
停止ボタン	再生を停止します。

メモ

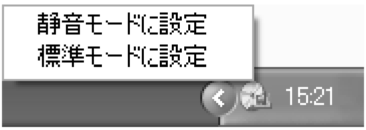
- オーディオボタンを使用しないときは、ボタンを無効にしておくことをおすすめします。無効にするには、モード切替ボタンを3秒以上長押しし、CD/DVD再生 LEDとオーディオデジタル再生 LEDが消灯していることを確認してください。

4 ドライブの動作音を軽減するには

音楽CDを楽しみたいときに、ドライブの回転速度をおさえ、動作音を軽減できます。「CD/DVD静音ユーティリティ」で設定します。
通知領域の［CD/DVD静音ユーティリティ］アイコン（ ）をダブルクリックすると、［CD/DVD静音ユーティリティ］画面が表示されますので、各モードの説明を確認してください。
モードを切り替えるには、選択するモードのボタンをクリックします。



また、通知領域の［CD/DVD静音ユーティリティ］アイコン（ ）を右クリックし、表示されたメニューからモードを選択することもできます。



［CD/DVD静音ユーティリティ］画面で［タスクバーにアイコンを表示する］のチェックをはずすと、通知領域のアイコン（ ）が消えます。
この場合、「CD/DVD静音ユーティリティ」を起動するには、［コントロールパネル］→［ パフォーマンスとメンテナンス］→［ CD/DVD静音ユーティリティ］をクリックします。

通知領域にアイコン（ ）をもう 1 度表示するには、［タスクバーにアイコンを表示する］をチェックしてください。

音楽 CD を聴き終わったあとは、「標準モード」に設定してください。
「静音モード」に設定していると CD の読み出し速度が遅くなるため、「標準モード」よりも CD の読み出しに時間がかかります。

メモ

「静音モード」に設定しても、次のような場合は「標準モード」に切り替わります。
- 再起動したとき
- スタンバイ、休止状態から復帰したとき
- 「Drag'n Drop CD+DVD」で CD のコピーを行うとき
- CD 速度を設定するアプリケーションを使用したとき

② Windows を起動しないで音楽 CD を聴く

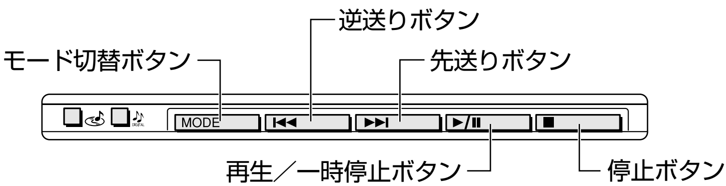
オーディオボタンを使うと、Windows を起動しないで音楽 CD を再生できます。

1 モード切替ボタンを 3 秒以上長押しする
ドライブの電源が入ります。
CD/DVD 再生 LED が点灯し、オーディオボタンが有効になります。

2 停止ボタンを押す
Power LED は点灯しません。ディスクトレイが出てきます。
ドライブの電源を入れてから 2 分以上操作がない場合は、自動的にドライブの電源が OFF になり、CD/DVD 再生 LED が消灯します。その場合は、もう 1 度モード切替ボタンを長押しして電源を入れ直してください。

3 音楽 CD をセットする

4 オーディオボタンで操作する



5 終了する場合は、音楽CDを取り出す

停止ボタンを押して再生を停止した後、もう1度停止ボタンを押すと、ディスクトレイが出てきます。

6 モード切替ボタンを3秒以上長押しする

オーディオボタンが無効になります。

CD/DVD再生 LEDとオーディオデジタル再生 LEDが消灯していることを確認してください。

2 音楽ファイルを聴く

本製品では次のような音楽ファイルを再生できます。
●WAVE形式（.wav）　●WMA形式（.wma）　●MP3形式（.mp3）　など

メモ

- 「BeatJam」はMP3ファイルの再生は可能ですが、MP3形式のデータを作成することはできません。

1 音楽再生用アプリケーションを起動する

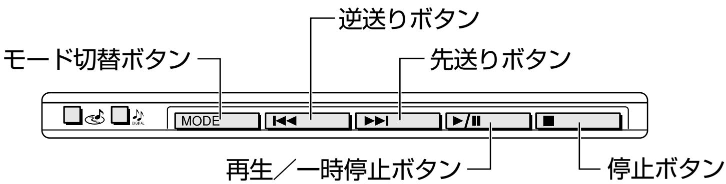
オーディオボタンでアプリケーションを起動できます。
CD/DVD再生 LEDまたはオーディオデジタル再生 LEDのどちらかが点灯している場合は、すでにオーディオボタンが有効になっていますので、手順1の操作は必要ありません。

1 モード切替ボタンを3秒以上長押しする

CD/DVD再生 LEDが点灯し、オーディオボタンが有効になります。

2 オーディオデジタル再生 LEDが点灯するまでモード切替ボタンを押す

3 再生／一時停止ボタンを押す



「東芝コントロール」で設定されているアプリケーションが起動します。
標準では「BeatJam」が起動します。

参照 BeatJamの操作について「本章 1-❶-2 操作画面」

メモ

- オーディオボタンを使用しないときは、ボタンを無効にしておくことをおすすめします。無効にするには、モード切替ボタンを3秒以上長押しし、CD/DVD再生 LEDとオーディオデジタル再生 LEDが消灯していることを確認してください。

2 BeatJam でファイルを再生する

1 音楽ファイルを直接再生する

次のようにファイルを再生します。

1 ［ライブラリ］ボタン（  ）をクリックする

［ライブラリ］画面が表示されます。



2 画面左にある一覧で［すべての曲］をクリックし①、［マイコンピュータ］などで再生したい音楽ファイルを「BeatJam」のメイン画面にドラッグアンドドロップする②



音楽ファイルはアルバム名やアーティスト名によって、自動的にカテゴリに分類されて追加されます。
プレイリストが作成されている場合、プレイリストにドラッグアンドドロップするとそのプレイリストにも追加されます。

参照 プレイリストについて「本項 2 プレイリストを作成する」

3 画面左でカテゴリやグループを選択し①、表示された一覧から再生したいファイルを選択する②



このとき画面左の［すべての曲］をクリックすると、カテゴリやグループに分けず、すべてのファイルが表示されます。

4 ［再生］ボタン（ ）をクリックする

選択したトラックが再生されます。
選択したトラックのあとは、一覧に表示されている順に再生されます。

2 プレイリストを作成する

音楽ファイルを好きな順序に並べてプレイリストを作成すると、複数の音楽ファイルを聴きたい順番で再生することができます。

1 ライブラリにファイルを追加する

ライブラリにファイルを追加して、プレイリスト作成の準備をします。

- 音楽CDのトラックをコピーする場合

①［CD］ボタン（ ）をクリックする
［CD］画面が表示されます。

②音楽CDをドライブにセットする
自動的に再生が始まったときは、［停止］ボタン（ ）をクリックして停止してください。
［Audio CD］画面が表示されたときは、［キャンセル］ボタンをクリックして画面を閉じてください。

③一覧で、録音したいトラックの左側にあるボックスをチェック（ ）する
一覧の左下にある をクリックすると、一覧表示されているすべてのトラックが録音されます。 をクリックすると、一覧表示されているすべてのトラックが録音されません。

④［曲のビットレート］（ 132k 105k 66k ）で、どのビットレートで録音するかを選択する
ビットレート数が大きいほど、良い音質で録音されます。

⑤［録音］ボタン（ ）をクリックする
［CDの録音］画面が表示され、録音が始まります。

⑥録音が終わったら、［閉じる］ボタンをクリックする

役立つ操作集

曲情報を取り込む

音楽CDの情報をGracenote CDDBから取り込むことができます。
Gracenote CDDBについては、BeatJamのヘルプを確認してください。
Gracenote CDDBは、ユーザ登録しないと使用できません。Gracenote CDDBで曲の情報を取り込めないときは、［Artist］にアーティスト名や、［Genre］にジャンル名を入力します。ジャンル名はメニューから選択することもできます。

● ファイルを追加する場合

「本項 1 音楽ファイルを直接再生する」の手順 1、2 を参照して、音楽ファイルをライブラリに追加してください。

2 ［ライブラリ］ボタン（ ）をクリックする

3 ［編集メニュー］ボタン（ ）をクリックして、表示されるメニューから［プレイリストの新規作成］をクリックする

画面左の［プレイリスト］に「New Playlist」という新しいプレイリストが作られます。



4 新しいプレイリストの名前を入力し、Enterキーを押す

プレイリスト名が確定されます。

5 追加したいファイルが含まれているグループを、画面左の一覧にある［すべての曲］～［お好み検索］から選択する

6 一覧から、プレイリストへ追加するファイルを選択する



Ctrlキーを押したままファイルをクリックすると、順番が離れている複数の曲を選べます。

Shiftキーを押したままファイルをクリックすると、順番が続いている複数の曲を選べます。

7 選択したファイルをドラッグし、画面左の一覧にある、追加したいプレイリストの上でドロップする

プレイリストに曲が追加されます。

3 プレイリストから再生する

1 ［ライブラリ］ボタン（）をクリックする

2 画面左の一覧にある［プレイリスト］の中から、聴きたいプレイリストをクリックする

3 ［再生］ボタン（）をクリックする

一覧に表示されている順に再生されます。

> 役立つ操作集
>
> **RoomStyle プレーヤー**
>
> 画面下にある［RoomStylePlayer］ボタン（）をクリックすると、RoomStyle プレーヤーに切り替わります。
>
>
>
> 音楽を聴きながら、RoomStyle プレーヤーに表示されるムービーを楽しめます。RoomStyle プレーヤーについては、BeatJam のヘルプを確認してください。

3 Windows Media Player でファイルを再生する

まず、再生する音楽ファイルを用意してください。音楽ファイルは、インターネットからダウンロードしたりアプリケーションを使って自分で作ることもできます。

各音楽ファイルは「1 トラック」として扱われます。
音楽ファイルには、曲名やアーティスト名などの情報が記録されていることがあります。これらの情報がある場合は、画面上に表示されます。

1 音楽ファイルを再生する

再生リストを作成していない場合は、次のように操作してください。

1 「Windows Media Player」のメニューバーから［ファイル］→［開く］をクリックする

2 **聴きたい曲のファイルを選択し①、［開く］ボタンをクリックする②**



再生が開始されます。

参照 Windows Media Playerの操作について「本章 1-❶-2 操作画面」

2 再生リストを作成する

ファイルを好きな順序に並べた再生リストを作成すると、複数の音楽ファイル（CD、ラジオ局、およびビデオからの複数のトラックなど）をグループ化して、指定した順序で再生することができます。

1 **メディアライブラリにファイルを追加する**

- 音楽CDのトラックをコピーする場合

①音楽CDをセットする
［Audio CD］画面が表示されたときは、［キャンセル］ボタンをクリックして画面を閉じてください。
②［CDから録音］ボタンをクリックする
③コピーするトラックをチェックする
④［音楽の録音］ボタンをクリックする
⑤［録音オプション（1／2)］画面でオプションを選択する
⑥「CDから録音される音楽が、…」の項目を読み、チェックする
⑦［次へ］ボタンをクリックする
⑧［録音オプション（2／2)］画面でオプションを選択する
⑨［完了］ボタンをクリックする

- ファイルを追加する場合

①メニューバーから［ファイル］→［メディアライブラリに追加］→［ファイルまたは再生リストを追加］をクリックする
②［ファイルを開く］画面でファイルを選択する

●インターネット上の音楽ファイルなどのマルチメディアを追加する場合
①メニューバーから［ファイル］→［メディアライブラリに追加］→［URL を追加］をクリックする
②［開く］画面で URL またはパスを指定する

2 ［メディアライブラリ］ボタンをクリックする



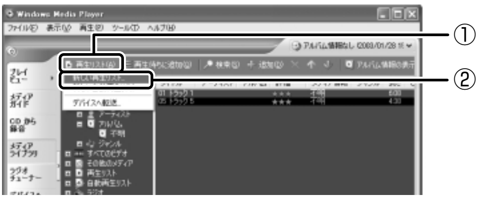
メディアライブラリを初めて使うときに限り、メッセージが表示されます。［いいえ］ボタンをクリックしてください。

3 ［すべての音楽］をクリックする

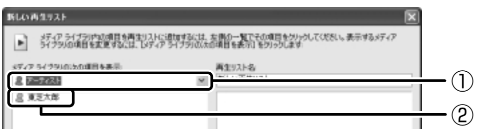


メディアライブラリに追加されているファイルが表示されます。

4 ［再生リスト］ボタンをクリックし①、表示されたメニューから［新しい再生リスト］をクリックする②

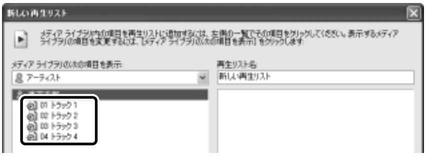


5 ［メディア ライブラリの次の項目を表示］で再生リストに追加したいファイルのカテゴリを選択し①、表示されたカテゴリから目的の項目を選択する②



ファイルの一覧が表示されます。

6 再生リストに追加するファイルをクリックする



クリックしたファイルが、［再生リスト名］の下に表示されます。

7 ［再生リスト名］に再生リストの名前を入力し①、［OK］ボタンをクリックする②



ここでは例として再生リスト名を「新規リスト」とします。

ファイルが再生リストに追加されます。
新しい再生リストが作成されました。

3 再生リストから再生する

1 ［メディアライブラリ］画面で、目的の再生リストをクリックする



リストの内容が右画面に表示されます。

2 ［再生］ボタン（ ）をクリックする

再生が開始されます。

3 オリジナル音楽CDを作る

「Drag'n Drop CD + DVD（ドラッグン ドロップ シーディープラス ディーブイディー）」は、CD-RW、CD-R にデータを書き込むことができるアプリケーションです。
ここでは、オリジナルの音楽 CD を作成する手順について説明します。
データのバックアップを作成する手順については、『困ったときは 2 章 2 バックアップをとる』を参照してください。

1 Drag'n Drop CD + DVD を使うために

お願い CD-RW、CD-R に書き込む前に

CD-RW、CD-R に書き込みを行うときは、「Drag'n Drop CD + DVD」を使用してください。本製品に添付の「Drag'n Drop CD + DVD」以外の CD-RW、CD-R ライティングソフトウェアは動作保証していません。Windows標準のライティング機能や市販のライティングソフトウェアは、使用しないでください。
CD-RW、CD-Rに書き込みを行うときは、次の注意をよく読んでから使用してください。守らずに使用すると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込みに失敗することがあります。

- CD-RW、CD-R に書き込む際には、それぞれの書き込み速度に対応したメディアを使用してください。また、推奨するメーカのメディアを使用してください。

  参照 CD-RW、CD-R について 「1 章 9-❷ 使用できる CD」

- バッテリ駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリの消耗などによって書き込みに失敗するおそれがあります。必ず AC アダプタを電源コンセントに接続してください。
- 書き込みを行う際は、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。また、スタンバイや休止状態を実行しないでください。

  参照 省電力機能について『応用にチャレンジ 3 章 バッテリ駆動』

- 次に示すような、ライティングソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
  ・スクリーンセーバ
  ・ウイルスチェックソフト
  ・ディスクのアクセスを高速化する常駐型ユーティリティ
  ・モデムなどの通信アプリケーション　　など
  ソフトウェアによっては、動作の不安定やデータの破損の原因となりますので使用しないことを推奨します。

- SDメモリカード、PCカードタイプのハードディスクドライブ、USB接続のハードディスクドライブなど、本製品のハードディスク以外の記憶装置にあるデータを書き込む際は、データをいったん本製品のハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
- LANを経由する場合は、データをいったん本製品のハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
- 「Drag'n Drop CD＋DVD」は、パケットライト形式での記録機能は備えていません。
- 本製品に付属している「Drag'n Drop CD＋DVD」を使用してDVD-Video、DVD-Audioを作成することはできません。
- 「Drag'n Drop CD＋DVD」の［Music BOX］（）を使用して、DVD-RW、DVD-Rに音楽情報を書き込むことはできません。

お願い　書き込み／削除を行うにあたって

- 「Drag'n Drop CD＋DVD」はDVD-RAMメディアへの書き込みをサポートしていません。
- タッチパッドを操作する、ウィンドウを開く、ユーザを切り替える、画面の解像度や色数の変更など、パソコン本体の操作を行わないでください。
- パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。
- 次の機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。
  PCカード、USB対応機器、外部ディスプレイ、i.LINK対応機器、SDメモリカード、パラレルコネクタに接続する機器、テレビ
- パソコン本体から携帯電話、および他の無線通信装置を離してください。
- オーディオボタンを使用して音楽／音声の再生を行わないでください。
- 重要なデータについては、書き込み終了後、必ずデータが正しく書き込まれたことを確認してください。

2 Drag'n Drop CD＋DVDを使う

「Drag'n Drop CD＋DVD」は、Windowsを起動すると同時に起動しデスクトップ上にアイコンが表示されます。
「Drag'n Drop CD＋DVD」を終了させた場合は、次の手順で起動してください。

1 起動方法

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Drag'n Drop CD＋DVD］→［Drag'n Drop CD＋DVD］をクリックする

デスクトップ上に、アイコンが表示されます。

2 Drag'n Drop CD + DVDの基本操作

デスクトップに表示されるアイコンは、次のような役割をもっています。



[Music BOX]
音楽CDを作成するときに使用します。
音楽ファイルをこのボックスにドラッグアンドドロップすると［Audio CD Layout Window］が開き、そこで好きな曲を選択すると自分だけの音楽CDを作成できます。

[DISC Backup BOX]
著作権上コピーが認められているCDやDVDのバックアップを作成するときに使用します。

[Data BOX]
フォルダやファイルをドラッグアンドドロップしてデータCDやDVDを作成するときに使用します。

参照 詳細について『困ったときは 2章 2 バックアップをとる』

CD に保存されている WMA 方式または WAVE 方式の音楽ファイルを使用して音楽 CD を作成する場合は、CD から直接［Music BOX］にドラッグできません。1 度ハードディスクに保存してから音楽 CD を作成してください。

3 音楽CDを作成する

1 音楽 CD をドライブにセットする

［Audio CD（D:)］画面が表示された場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

2 ［スタート］→［マイ コンピュータ］をクリックする

3 ［Audio CD（D:)］アイコン（ ）を、［Music BOX］にドラッグアンドドロップする

［Audio CD Layout Window］画面が表示され、［音楽 CD トラック情報］には曲情報が表示されています。

4 ［ブランク CD サイズ］を指定する

5 書き込みたいトラックを選択する



トラックは複数選択できます。
［再生］ボタン（ ）をクリックすると試し聴きできます。

6 [選択トラックをリストに追加] ボタン（ ）をクリックする

デジタル抽出が開始されます。デジタル抽出が完了するまで、しばらくかかります。進行状況は、[デジタル抽出状況] のバーで確認できます。[ベストアルバムトラック情報] に抽出した曲が表示されます。



曲順を入れ替えたい場合は、トラックを選択して移動したい位置へドラッグアンドドロップします。

不要なトラックは ボタンで削除できます。

他の音楽CDからも取り込みたい場合は、ここで音楽CDを入れ替え、手順5、6を繰り返します。

7 音楽CDを取り出し、未使用のCD-Rをセットする

8 [書き込み] ボタン（ ）をクリックする

CDへの書き込みが開始されます。書き込みが終了すると、ドライブのディスクトレイが自動的に開きます。

ヘルプの起動方法

「Drag'n Drop CD＋DVD」の詳しい情報は、ヘルプを確認してください。

1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [Drag'n Drop CD＋DVD] → [Drag'n Drop CD＋DVD Help] をクリックする

「Drag'n Drop CD＋DVD」のヘルプが表示されます。

参照 「Drag'n Drop CD＋DVD」の問い合わせ先
『困ったときは 付録 1 アプリケーションの問い合わせ先』

3 Drag'n Drop CD＋DVDを終了する

「Drag'n Drop CD＋DVD」を終了するときは、次の手順で行います。

1 通知領域の [Drag'n Drop CD＋DVD] アイコン（ ）を右クリックし、表示されたメニューから [終了] をクリックする

デスクトップ上に表示されていたアイコンが消えます。

4 DVD-Videoを観る

本製品は、ドライブにDVD-Videoをセットして、迫力ある映像を楽しむことができます。

DVD-Video再生ソフトウェアとして、「InterVideo（インタービデオ） WinDVD（ウィンディーブイディー）」が用意されています。

お願い DVD-Videoの再生にあたって

- DVD-Videoの再生には、「InterVideo WinDVD」を使用してください。
  「Windows Media Player」やその他市販ソフトを使用してDVD-Videoを再生すると、表示が乱れたり、再生できない場合があります。このようなときは、「InterVideo WinDVD」を起動し、DVD-Videoを再生してください。
- DVD-Video再生ソフト「InterVideo WinDVD」は、Video CD、Audio CD、MP3の再生はサポートしていません。
- DVD-Video再生時は、なるべくACアダプタを接続してください。省電力機能が働くと、スムーズな再生ができない場合があります。バッテリ駆動で再生する場合は「東芝省電力」で「DVD再生」プロファイルに設定してください。
- 使用するDVDディスクのタイトルによっては、コマ落ちしたり、マルチアングルシーンで一時停止ができない場合があります。
- DVD-Videoを再生する前に、他のアプリケーションを終了させてください。また、再生中には他のアプリケーションを起動させたり、不要な操作は行わないでください。
  再生中に、常駐しているプログラムの画面やアイコンなどがちらつく場合は、「InterVideo WinDVD」を最大表示にしてください。
- DVD-Videoの再生はRegion（リージョン）コード「2」、「ALL」のものをご使用ください。
- 外部ディスプレイまたはテレビに表示する場合は、再生する前にあらかじめ表示装置を切り替えてください。また、マルチモニタ（内部液晶ディスプレイと外部ディスプレイまたはテレビの同時表示）の設定では、外部ディスプレイまたはテレビに表示するための設定が必要です。

  参照 表示装置の切り替え『応用にチャレンジ 2章 4-2 テレビに表示する』

  参照 外部ディスプレイまたはテレビに動画を表示する
  『応用にチャレンジ 2章 4-3 動画をテレビまたは外部ディスプレイに表示する』

  その他の注意については、「Readme」に記載しています。
  「Readme」の起動は、［スタート］→［すべてのプログラム］→［InterVideo WinDVD］→［readme1st.txt］をクリックしてください。

1 InterVideo WinDVDを起動する

「InterVideo WinDVD」はWindowsを起動している状態でも、Windowsを起動していない状態でも起動することができます。

1 Windowsから起動する

1 DVD-Videoをセットする

アプリケーションを選択する画面が表示されます。

参照 DVDのセットについて『さあ始めよう 2章 1-❸ CD／DVD』

アプリケーションを選択する画面が表示されない場合は、［マイ コンピュータ］で（D:）ドライブをダブルクリックしてください。
「InterVideo WinDVD」が起動します。

2 ［DVDムービーの再生 InterVideo WinDVD使用］を選択し①、［OK］ボタンをクリックする②



「InterVideo WinDVD」が起動します。

メモ

［スタート］メニューから「InterVideo WinDVD」を起動するには、［スタート］→［すべてのプログラム］→［InterVideo WinDVD］→［InterVideo WinDVD］をクリックしてください。

2 オーディオボタンから起動する

Windows が起動していないときに、オーディオボタンで「InterVideo WinDVD」を起動することができます。

1 モード切替ボタンを 3 秒以上長押しする

ドライブの電源が入ります。
CD/DVD 再生 LED が点灯し、オーディオボタンが有効になります。

2 停止ボタンを押す

Power LED は点灯しません。ディスクトレイが出てきます。

3 DVD-Video をセットする

ディスクトレイを閉じて、しばらくすると Windows が起動します。
Windows が起動するまで、数秒かかる場合があります。
［開始するにはユーザー名をクリックしてください］画面が表示された場合、複数のアカウントを作成しているときは、ログオンしたいユーザー名をクリックしてください。Windows ログオンパスワードを設定しているときは、パスワードを入力し、ボタンをクリックしてください。
Windows が起動した後、「InterVideo WinDVD」が起動します。

メモ

- オーディオボタンを使用しないときは、ボタンを無効にしておくことをおすすめします。無効にするには、モード切替ボタンを3秒以上長押しし、CD/DVD 再生 LED とオーディオデジタル再生 LED が消灯していることを確認してください。

2 InterVideo WinDVD を使う

「InterVideo WinDVD」を起動するとメインウィンドウと WinDVD コントロールパネルが表示されます。
再生する DVD-Video によっては、表示が一部異なる場合があります。
また、操作ボタンの一部は機能に対応している場合のみ使用できます。

メインウィンドウ
ビデオを表示します。





WinDVDコントロールパネル
DVDの再生は、このパネルのボタンで操作します。
再生の操作でおもに使用するボタンについては、
「本項 1 WinDVDコントロールパネル」を参照してください。

1 WinDVDコントロールパネル

DVD 再生のときは、おもに次のボタンを使用します。
各ボタンの詳細については、ヘルプを確認してください。

ボリューム
上にドラッグすると音量が上がります。
下にドラッグすると音量が下がります。

ヘルプ
ヘルプを表示します。

最小化
画面を最小化します。

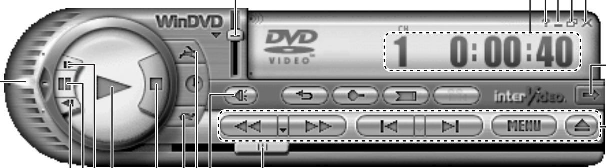
フルスクリーン
画面を最大化します。

閉じる
WinDVDを終了します。

可変速早送り／早戻し
ダイヤルをドラッグして再生速度を任意に変更します。速度によっては、音声は出力されなくなります。

カウンタ
再生中のDVDのチャプターや再生時間などを表示します。

サブパネルを表示します。



コマ戻し

一時停止

コマ送り

再生

停止

タイムスライダー
スライダーバーをドラッグしてタイトル内の位置を移動します。

ミュート
クリックすると消音になります。
消音の状態でクリックすると元の音量に戻ります。

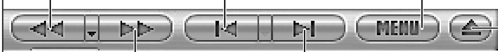
クリックするごとに再生速度を速くします。

クリックするごとに再生速度を遅くします。

ディスクメニュー
メニューを表示します。

早戻し

前のチャプター



取り出し
ディスクトレイを開きます。

早送り

次のチャプター

2 サブパネル

サブパネルで、再生するDVDに応じてオーディオ、ビデオ、その他の付加機能を調節することができます。

【 サブパネルの表示と切り替え 】

1 WinDVDコントロールパネルの［サブパネル］ボタンをクリックする



［サブパネル］ボタン

2 表示されたメニューから調節する機能を選択し、クリックする

【 サブパネルの非表示 】

表示しているサブパネルを閉じる場合は、次のように操作してください。

1 ［サブパネルを閉じる］ボタンをクリックする


［サブパネルを閉じる］ボタン

3 基本設定の変更

「InterVideo WinDVD」を使用するときの全体的な設定は［セットアップ］画面で行います。この設定は、再生するすべてのディスクに適用されます。

1 サブパネルの［セットアップ］ボタンをクリックする


［セットアップ］ボタン

［セットアップ］画面が表示されます。
各タブで設定を行ってください。

4 オーディオボタンで操作する

オーディオボタンを使って「InterVideo WinDVD」を起動したり、操作したりすることができます。

CD/DVD 再生 LED またはオーディオデジタル再生 LED のどちらかが点灯している場合は、すでにオーディオボタンが有効になっていますので、手順 1 の操作は必要ありません。

1 モード切替ボタンを 3 秒以上長押しする

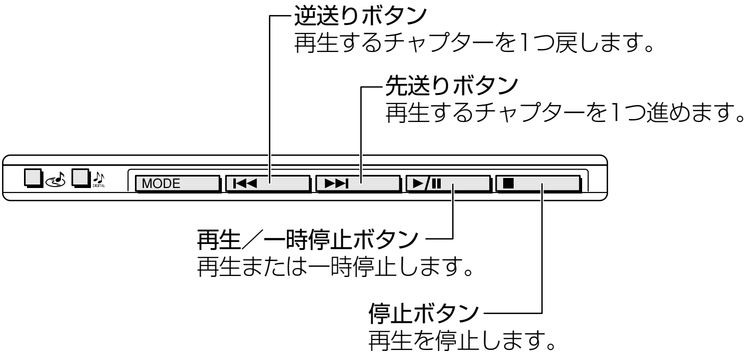
CD/DVD 再生 LED が点灯し、オーディオボタンが有効になります。

2 CD/DVD 再生 LED が点灯するまでモード切替ボタンを押す

CD/DVD 再生 LED が点灯している場合、この操作は不要です。

3 再生／一時停止ボタンを押す

「InterVideo WinDVD」が起動し、オーディオボタンでも操作できます。



メモ

- オーディオボタンを使用しないときは、ボタンを無効にしておくことをおすすめします。無効にするには、モード切替ボタンを３秒以上長押しし、CD/DVD 再生 LED とオーディオデジタル再生 LED が消灯していることを確認してください。

5 テレビまたは外部ディスプレイに表示する

パソコン本体にテレビまたは外部ディスプレイを接続して、DVD-Videoの再生画面を表示させることができます。
「InterVideo WinDVD」を起動する前に、表示装置を切り替えてください。
また、内部液晶ディスプレイとテレビまたは外部ディスプレイに同時に表示させる場合は、次の設定が必要です。

- 表示装置を同時表示に切り替える
- テレビまたは外部ディスプレイに動画を表示する設定をする

参照 詳細について
『応用にチャレンジ 2章 4 テレビを接続する』
『応用にチャレンジ 2章 5 外部ディスプレイを接続する』

ヘルプの起動方法

1 WinDVDコントロールパネルの［ヘルプ］ボタン（ ? ）をクリックする

参照 「InterVideo WinDVD」の問い合わせ先
『困ったときは 付録 1 アプリケーションの問い合わせ先』

5 デジタルカメラの写真を編集/整理する

本製品には、静止画を編集できるアプリケーション「デジカメ Walker (Ulead iPhoto Express)」が用意されています。
「デジカメ Walker」を使うと、写真などの画像を簡単に編集できます。編集した画像を使ってカードや Web ページを作成したり、アルバムを作って画像を管理することもできます。

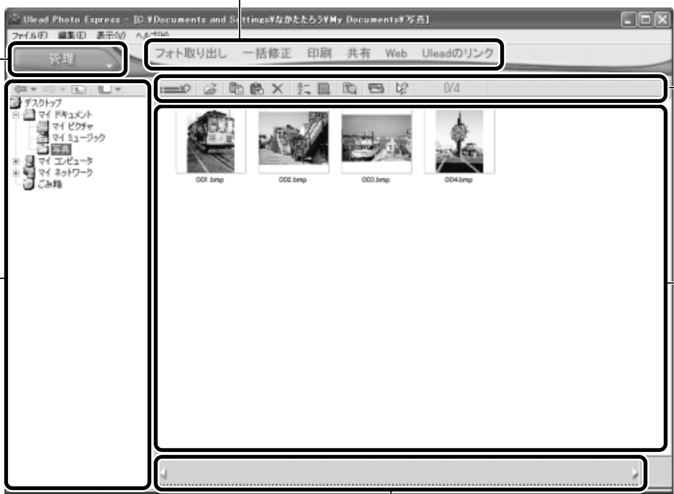
1 起動方法

1 **［スタート］→［すべてのプログラム］→［デジカメ Walker］→［Ulead iPhoto Express］をクリックする**

モードを選択します。管理、編集、テンプレートから選択できます。

ショートカットバー
よく使う操作をボタンから行うことができます。

コマンドパネル
モードによってコマンドが変わります。作業領域で行う作業を選択します。



オプションパネル
コマンドによって表示が切り替わります。詳しい設定ができます。

作業領域
イメージやプロジェクトを見たり編集したりする場所です。

サムネイルストリップ
開いているイメージやプロジェクトのサムネイル（一覧表示画像）が表示されます。

2 写真を編集する

ここでは、デジタルカメラで撮った写真をパソコンにファイルとして取り込んだ状態で、編集を加える場合について説明します。
デジタルカメラからパソコンへの取り込みかたは、接続するデジタルカメラによって異なります。詳しくは、『デジタルカメラに付属の説明書』を確認してください。

1 ［編集］モード（ 編集 ）でコマンドパネルから［フォト取り出し］→［マイコンピュータ］をクリックする

オプションパネルに［参照中のフォルダ］が表示されます。

2 ▼ をクリックし、表示されたメニューから編集する写真のあるフォルダをクリックする

オプションパネルにサムネイルが表示されます。

3 編集する画像のサムネイルをクリックし、［開く］ボタンをクリックする



作業領域に画像が表示されます。

4 コマンドパネルから［編集］のメニューをクリックし、画像を加工する

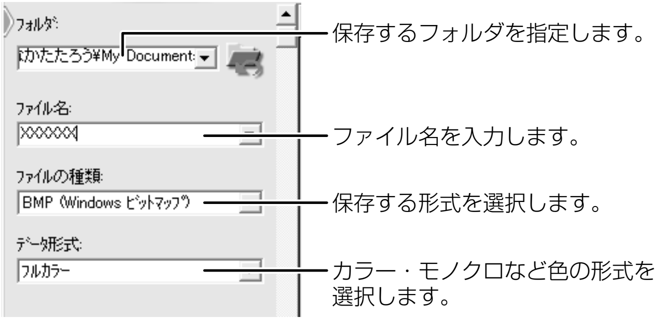
次のメニューから、画像にさまざまな効果を加えることができます。

調整	画像の切り抜き、サイズや明るさ／色の調整などを行います。
選択範囲	用途や形、色に基づいて範囲を選択します。
テキスト	画像に文字を書き込みます。文字にもいろいろな効果を選べます。
ペイント	筆で絵に色をつけるように、画像にさまざまな効果を加えます。
装飾	縁取りやイラスト、影の追加などが行えます。

3 加工した画像を保存する

1 **コマンドパネルから［共有］→［保存］をクリックする**

オプションパネルに、保存についての項目が表示されます。



2 **［保存］ボタンをクリックする**

ヘルプの起動方法

1 **「デジカメ Walker（Ulead iPhoto Express）」を起動後、メニューバーから［ヘルプ］→［Ulead iPhoto Express のヘルプ］をクリックする**

PDF マニュアルの起動方法

1 **［スタート］→［すべてのプログラム］→［デジカメ Walker］→［Screenbook］をクリックする**

参照 「デジカメ Walker」の問い合わせ先
『困ったときは 付録 1 アプリケーションの問い合わせ先』

6 オリジナル DVD を作る

「WinDVD Creator 2 Platinum」(ウィンディーブイディー クリエーター プラチナム)を使ってデジタルビデオカメラで撮影した映像を本製品に取り込み、編集できます。また、編集した映像データを DVD に書き込むこともできます。

お願い WinDVD Creator 2 Platinum の使用にあたって

- 「InterVideo WinDVD」などの映像を再生するアプリケーションが動作していると、編集中のプレビューが正しく表示されない場合があります。編集中は他のアプリケーションを終了してください。
- 編集中のプレビューは内部液晶ディスプレイにのみ表示されます。外部ディスプレイには表示されません。
- 著作権保護された映像が保存されている DVD-RW、DVD-R の映像の編集は行えません。
- 著作権保護されているコンテンツは再生できません。
- 「WinDVD Creator 2 Platinum」の動作中は、画面の解像度・色数の変更は行わないでください。

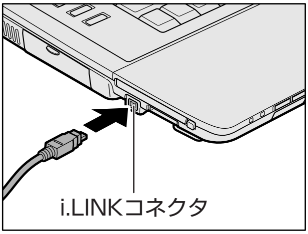
1 映像データをパソコンに取り込む

デジタルビデオカメラを接続し、映像データをパソコンに取り込みます。

お願い 映像データを取り込む前に

- デジタルビデオカメラの映像を取り込むときは「WinDVD Creator 2 Platinum」を使用してください。本製品に付属の「WinDVD Creator 2 Platinum」以外の映像データを取り込むソフトウェアは、動作保証していません。
  本製品に既にインストールされている「Windows Movie Maker 2」やその他の映像データを取り込むソフトウェアは使用しないでください。
- バッテリ駆動時で使用中に映像データの取り込みを行うと、バッテリ消耗などによって取り込みに失敗するおそれがあります。必ず AC アダプタでパソコンを電源に接続して使用してください。

1 i.LINK（IEEE1394）ケーブルをパソコン本体に接続する



プラグの向きを確認して差し込んでください。

参照 i.LINK ケーブルの接続の詳細
『応用にチャレンジ 2 章 7 i.LINK（IEEE1394）対応機器を接続する』

2 ケーブルのもう一方のプラグをデジタルビデオカメラに接続する

3 デジタルビデオカメラの電源を入れる

［デジタル ビデオ デバイス］画面が表示されます。

4 ［DVD ムービーの記録、編集、作成 WinDVD Creator 使用］を選択し①、［OK］ボタンをクリックする②



「WinDVD Creator 2 Platinum」が起動します。

「WinDVD Creator 2 Platinum」が起動しない場合やデジタルビデオカメラを接続しない場合などは、［スタート］→［すべてのプログラム］→［InterVideo WinDVD Creator］→［InterVideo WinDVD Creator］をクリックして起動してください。

「WinDVD Creator 2 Platinum」の使いかたについては、同梱の『interVideo WinDVD Creator 2 Platinum ユーザーズ・マニュアル』をご覧ください。

ヘルプの起動方法

1 メニューバーの［ヘルプ］→［ヘルプ］をクリックする

参照 「WinDVD Creator 2 Platinum」の問い合わせ先
『困ったときは 付録 1 アプリケーションの問い合わせ先』

2 映像データの編集について

映像データを「WinDVD Creator 2 Platinum」で編集することができます。
編集の方法については、同梱の『interVideo WinDVD Creator 2 Platinum ユーザーズ・マニュアル』をご覧ください。

お願い　編集した映像データについて

- 編集した映像データを本製品で再生する場合は、「InterVideo WinDVD」を使用してください。「Windows Media Player」やその他の市販ソフトを使用して再生すると、表示が乱れたり、再生できない場合があります。このようなときは、「InterVideo WinDVD」を起動し、再生してください。

編集した映像データは、デジタルビデオ機器に出力することができます。

3 映像データを DVD に書き込む

映像データを DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R に書き込むことができます。
書き込み方法については、同梱の『interVideo WinDVD Creator 2 Platinum ユーザーズ・マニュアル』をご覧ください。

お願い

映像データを DVD に書き込む前に

- DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R に書き込みを行う際には、それぞれの規格に準拠したメディアを使用してください。また、推奨するメーカのメディアを使用してください。なお、再生する機器に応じて、その機器の取扱説明書でも推奨されているメディアを使用してください。

  参照 DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R について
  「1 章 9-❸ 使用できる DVD」

  守らずに使用すると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込みに失敗することがあります。
- 本製品に付属の「WinDVD Creator 2 Platinum」以外の映像データライティングソフトウェアは動作保証していません。
- バッテリ駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリの消耗などによって書き込みに失敗するおそれがあります。必ず AC アダプタを使用してパソコンを電源に接続して使用してください。

- 書き込みを行う際は、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。また、スタンバイや休止状態を実行しないでください。

参照 詳細について
『応用にチャレンジ 3章 2 省電力の設定をする』
『応用にチャレンジ 3章 3 パソコンの使用を中断する／電源を切る』

- 次に示すような、ライティングソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
  ・スクリーンセーバ
  ・ウイルスチェックソフト
  ・ディスクのアクセスを高速化する常駐型ユーティリティ
  ・モデムなどの通信アプリケーション　　など

  ソフトウェアによっては動作の不安定やデータの破損の原因となるので、使用しないことを推奨します。

書き込み／削除を行うにあたって

- タッチパッドを操作する、ウィンドウを開く、ユーザを切り替える、画面の解像度や色数の変更など、パソコン本体の操作を行わないでください。
- パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。
- 次の機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。
  PC カード、USB 対応機器、外部ディスプレイ、i.LINK 対応機器、
  SD メモリカード、パラレルコネクタに接続する機器、テレビ
- パソコン本体から携帯電話、および他の無線通信装置を離してください。
- オーディオボタンを使用して音楽／音声の再生を行わないでください。
- 重要なデータについては、書き込み終了後、必ずデータが正しく書き込まれたことを確認してください。
- 書き込み済みの DVD-RW に書き込みを行う場合は、「Drag'n Drop CD ＋ DVD」などで消去する必要があります。
  消去方法については、「Drag'n Drop CD ＋ DVD」のヘルプを確認してください。

参照 「Drag'n Drop CD ＋ DVD」のヘルプ
「本章 3-❷ Drag'n Drop CD ＋ DVD を使う」

「WinDVD Creator 2 Platinum」の「ムービー作成」について

- 「ムービー作成」では、-VR フォーマットでの書き込みはできません。
- 書き込みが可能な DVD-RW、DVD-R へ最大約 2 時間の映像データを DVD-Video フォーマットで記録できます。
- DVD-Audio や Video CD、miniDVD を作成することはできません。

- DVD-RAMにDVD-Videoフォーマットで記録できますが、作成されたメディアは本製品にインストールされている「InterVideo WinDVD」でのみ再生可能となります。
- DVD-RW、DVD-Rへ書き込みを行うには、ビデオの長さ1時間当たりハードディスクに2GB以上の空き容量が必要です。あらかじめハードディスクの空き容量を確認してください。
- DVD-RW、DVD-Rに映像データを書き込む場合、映像データの大きさや編集のしかたによってはデータの変換に数時間かかることがあります。

作成したDVD-RAM、DVD-RW、DVD-Rについて

- 作成したDVD-RAM、DVD-RW、DVD-Rは、一部の家庭用DVDビデオレコーダやパソコンでは再生できない場合があります。
- 作成したDVD-RAM、DVD-RW、DVD-Rを本製品で再生する場合は、「InterVideo WinDVD」を使用してください。「Windows Media Player」やその他の市販ソフトを使用して再生すると、表示が乱れたり、再生できない場合があります。

「WinDVD Creator 2 Platinum」の「ディスクマネージャ」について

- 「ディスクマネージャ」では、映像データを-VRフォーマットでDVD-RAMに、または、DVD-VideoフォーマットでDVD-RWに記録することができます。
- 「ディスクマネージャ」では、-VRフォーマットで記録されたDVD-RAMの映像データを編集することができます。
- DVD-RW、DVD-Rに-VRフォーマットでの書き込みはできません。
- DVD-RAMへ書き込むには、あらかじめフォーマットツールでUDF2.0形式のフォーマットをしておく必要があります。

  参照 DVD-RAMのフォーマット「1章9-❹ DVD-RAMを使うときは」

- 扱えるプレイリストは1個だけです。
- DVD-RAMレコーダでプログラムなどに設定したサムネイル画像と異なるサムネイル画像が表示されることがあります。
- DVD-RAMをドライブにセットしても、「ディスクマネージャ」でメディアの内容が認識できないことがあります。
  CD-ROM LEDが点灯または点滅中は処理中なので、消灯するまでお待ちください。CD-ROM LEDの消灯後にメディアの内容が認識できない場合は、「ディスクマネージャ」の［ドライブの選択］の ▼ ボタンをクリックし、表示されたメニューから本製品のドライブを選択してください。

さくいん

メ

モ

ヤ

リ

ロ

ワ